

English Logic and Expression I・II Smart be

1

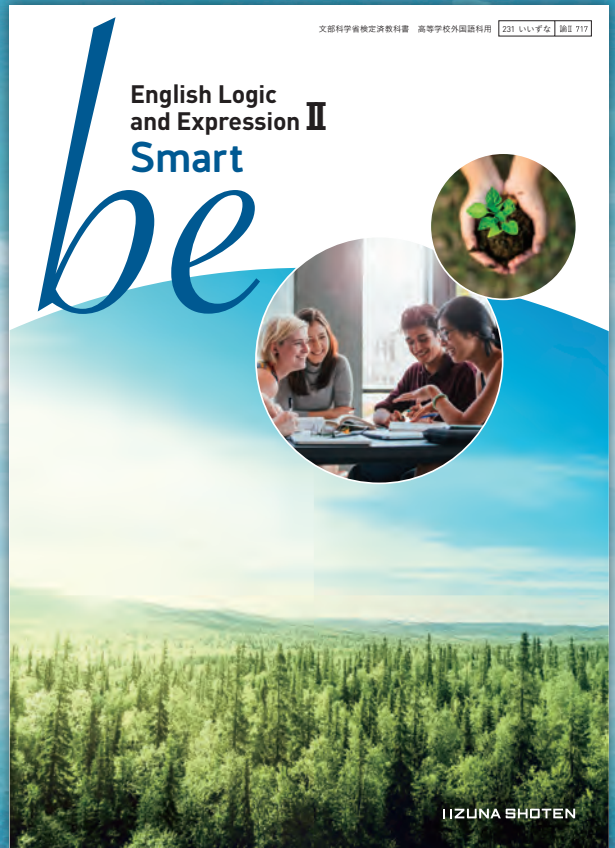
文法を軸に
表現力の基礎を
養成

2

演習 → 発信活動
のスムーズな
橋渡し

3

さまざまな
活動を
網羅した問題



令和6～9年度用
論理・表現 I・II
教科書
ダイジェスト版

LINEUP

論理・表現 教科書ラインアップ

目標と学力に応じた選択が可能な3レベル

★★★ 標準～発展

be Smart

文法の定着を図り
発信力を養う

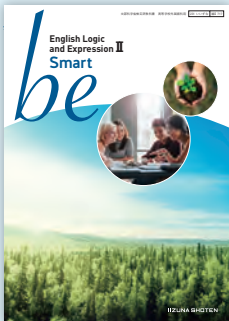
Point

Iの掲載例文は
対応の各参考書と
完全一致!

論理・表現 I



論理・表現 II



B いつもすることを表す

- ① I usually **get** to school at 8:30.
- ② My mother **teaches** biology at a high school.

対応
参考書



★★ 標準

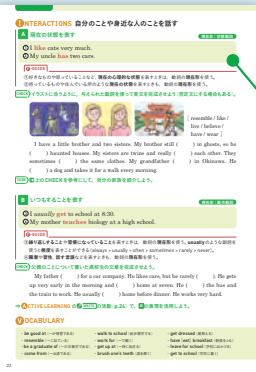
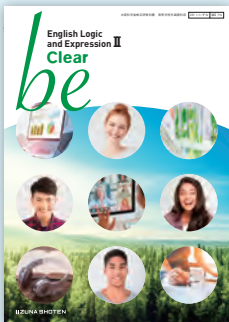
be Clear

基礎を固めて
表現力を身につける

論理・表現 I



論理・表現 II



A 現在の状態を表す

- ① I **like** cats very much.
- ② My uncle **has** two cars.

★ 基礎

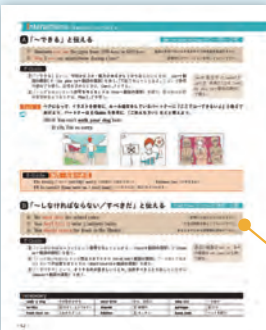
Harmony

楽しく英語を使いながら
文法力を身につける

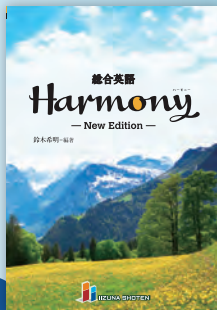
論理・表現 I



論理・表現 II



対応
参考書



B 「～しなければならぬ/すべきだ」と伝える

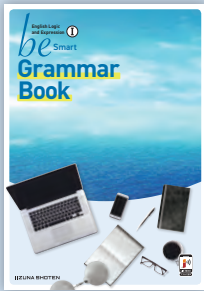
- ① We **must** obey the school rules.
- ② You **don't have to** wear a uniform today.
- ③ You **should** return the book to the library.

関連教材ラインアップ

さまざまな授業スタイル・授業目的をカバーする
生徒用、指導用の多彩なバックアップ教材

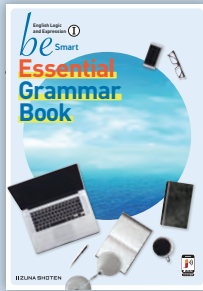


生徒用



Grammar Book I/II

文法学習
徹底サポート



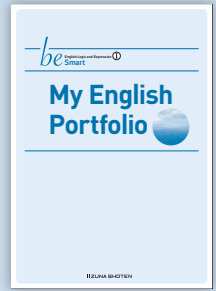
Essential Grammar Book I

Grammar Bookを
コンパクトに



Workbook I/II

アウトプットの
基礎力養成



My English Portfolio I/II

教科書学習の
伴走として



デジタル教科書/
デジタル教科書（教材）
[共にクラウド版]

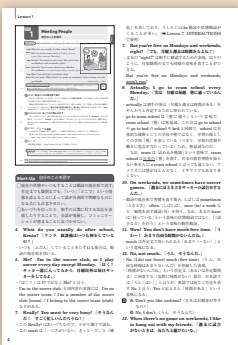


生徒用音声 CD

I/II：各2枚組



指導用



指導資料セット I/II

- ① 指導書本冊
*単体(PDF)でのご用意もございます。
- ② Teacher's Book
● 解説+英語での授業展開
*単体でのご用意もございます。
- ③ 補助プリント
● Grammar導入シート
● SHARE/WRITEワークシートなど
- ④ 小テスト・評価問題
● 各課・単元の習熟度確認
- ⑤ 指導用データDVD-ROM
● 授業や課題に使用できる
プリント類
● 教科書本文・和訳データ
● 指導用パワーポイント・
テストクリエイター



デジタル教科書（教材）
[アプリ版/クラウド版]



指導用音声 CD

I：8枚組 / II：6枚組



- 1 導入 (1 頁目)
- 2 定着 (2, 3 頁目)
- 3 発展 (4 頁目) の 3 ユニット構成。

- 1 文法・機能表現を含むモデル会話
- 2 文法解説と CHECK (文法問題)・TASK (活動)
- 3 文法・機能表現を使った自己発信活動を通して、論理的に表現する力が身につく。

1 モデル会話で導入

LESSON

2

Holidays and Weekends

休日・週末にしたことを話す

Start-Up Mary and Mina are chatting in the classroom. Mina is telling Mary about how she spent her holiday.

Mary: Where did you go last weekend? I didn't see you around.

Mina: You didn't see my pictures online? **I went to Gero in Gifu with my family.**

Mary: You went where?

Mina: Gero, it's a famous hot spring in Gifu. Actually, it was my fourth time to go there.

Mary: Oh, you went to the same hot spring four times? Why?

Mina: Well, I love that hot spring. And besides, my cousin lives there.



Tips for Better Communication Actually...とすることで、「(驚くかもしれないけど)実は」と、ワンクッション置いて相手の注意をひきつけることができます。このような「つなぎ語」を効果的に使って、上手にコミュニケーションしましょう。



FORMS 過去のことは過去形で表す

休日や週末にしたことなど、過去のことを表すときは**動詞の過去形**を使います。

Where **did** you go last weekend? / **I went** to Gero with my family.
過去の時点で「～だった」という状態を表すときも、**I didn't see** you around. のように過去形を使います。be 動詞の場合は、**It was** my fourth time to go there. のようになります。

会話の最後で **I love** that hot spring. や My cousin **lives** there. と現在形の文が出てきますが、これは過去から現在、そしておそらく未来もそうだと考えることだからです。過去のことであれば、My cousin **lived** there. と過去形にします。

EXPRESSIONS 相手の発言を聞き直す

相手の発言を確認したいときや聞き取れないときは、すぐに聞き直しましょう。**You went where?** と、平叙文の語順のままでは簡単です。You went to Gero? のように相手の発言を繰り返して聞き直すと、驚きや興味をもっていることを表すことができます。

「もう一度言ってください」と頼むときは、**Pardon?** や **Excuse me?** (イギリスでは **Sorry?**) と言います。

SOUNDS /t/ と /d/ の発音

/t/ (無声音) と /d/ (有声音) は、舌先と上の歯茎で呼吸の流れを止めてから、一気に開放して発音します。

time, tell, stop, until, last, went, hot / did, drink, suddenly, holiday, weekend, around, tend

TALK

会話の内容を確認し、Mary と Mina になりきって会話をしてみよう!

Pick-Up 日本語で「ネットで」と言うと、英語では **online** (オンラインで) という副詞を使って表すことができます。

chat online / play a game online / buy a ticket online

TT A tutor who tooted the flute tried to tutor two tooters to toot.

2 WEEK

2 文法項目の確認と定着

INTERACTIONS Talking about holidays and vacations

A 過去の状態や出来事を表す

過去形

- ① My father **looked** tired after the long drive.
- ② **I went** to see a movie last Sunday.

G-GUIDE

- ①過去の状態を表すときは、動詞の過去形を使う。
- ②過去にしたことや過去の出来事を表すときも、動詞の過去形を使う。

CHECK 会話を聞いて空所を埋めよう。

1. A: My brother and I _____ futsal last Saturday.
B: _____?
A: Futsal. It's like football, but it's played on a smaller field.
B: Oh, I see. That sounds like fun!
2. A: _____ last weekend?
B: Last weekend? I did some volunteer work at a nursing home.
A: That's nice. How _____ about the volunteer work?
B: One of my friends _____ about it.

G-GUIDE

相手の発言を聞き取れなかったときはすぐに聞き直そう。

I like British rock bands. → You like what?

I cut my finger when I was cooking. → You cut what?

· Pardon? · I beg your pardon? · Excuse me? · Could you say that again?

· You did what? · You went where? · What did you say? · What's that? · Did you say...?

TASK 週末か春休みにしたことについて会話をしてみよう。

B している最中だったことを表す

過去進行形

- ① **I was taking** a nap around 2:00 p.m. yesterday.
- ② My mother **was wearing** sunglasses on the beach.

G-GUIDE

①過去の時点でしている最中だったことを表すときは、過去進行形 (was/were + 動詞のing形) を使う。

②過去の時点での一時的な状態や、変化している最中だったことを表すときも、過去進行形を使う。

TASK イラスト中の高校生やあなたが昨日していたことについて会話をしてみよう。イラストから想像できることも加えてみよう。

VOCABULARY

- | | | | |
|-----------------------|-------------------------|-----------------------|----------------------|
| · go shopping | · go to a movie | · have a party | · practice the piano |
| · go cycling | · go to karaoke | · play catch | · take a walk |
| · go bowling | · hang out with friends | · play futsal | · take a nap |
| · go to an exhibition | · have a barbecue | · play with one's pet | · chat with a friend |

26

INTERACTIONS

4つの文法項目を軸として、コミュニケーションに必要な知識と技能を身につけます。

CHECK 文法の確認問題で、言語活動の準備をします。

TASK 「話す (発表・やり取り)」「書く」の言語活動を通して、思考、判断、表現の力を養います。

Start-Up

さまざまな場面の会話を通して、英語の基本形や語順 (FORMS)、コミュニケーションに必要な表現 (EXPRESSIONS)、発音・アクセント (SOUNDS) を意識しながら、話す練習 (TALK) をします。

Introductionで 5文型と品詞の基礎を学ぶ

本課を学ぶ前に、英語の基礎を体系的に学習できる。

- 5文型の詳しい解説
- 品詞の理解

「Introduction」の授業では、基礎的な文法を学習していきましょう。ここで、英語の基礎の授業について見ていきましょう。

基礎的な文法
英語の基礎的な文法は、英語の文法を学ぶための重要なポイントです。

基礎的な文法
英語の基礎的な文法は、英語の文法を学ぶための重要なポイントです。

基礎的な文法
英語の基礎的な文法は、英語の文法を学ぶための重要なポイントです。

基礎的な文法
英語の基礎的な文法は、英語の文法を学ぶための重要なポイントです。

基礎的な文法
英語の基礎的な文法は、英語の文法を学ぶための重要なポイントです。

INTERACTION

A 過去の状態や出来事

- ① My father **looked** surprised when I came home.
- ② I **went** to see a doctor because I had a headache.

G-GUIDE

過去の状態や出来事

A～D 4つの文法項目と基本例文で学習

① A. What were you doing around 10:00 last night?
B. I was sleeping at that time. Yesterday, I went to the beach with my family, and came back around 8:00 p.m. After taking a bath, I went straight to bed.

1 8:00 a.m. 2 3:00 p.m. 3 7:00 p.m. 4 10:00 p.m.
You?

C いつのことなのかを接続詞を使って表す

- ① The sun was setting **when** we arrived at the beach.
- ② My sister broke her leg **while** she was skateboarding.

G-GUIDE

- ① 接続詞 when のあとに過去形を使って、何をしたときなのかを示すことができる。
- ② when や while のあとに過去進行形を使って、何をしていたときなのかを示すことができる。

TASK 空所を埋めて、高校生が昨日のことを書いた英文を完成させよう。

I had a busy day yesterday. I _____ my alarm for six the night before, but it didn't go off. So, when my mom _____ into my room at seven, I _____ . I got ready quickly and _____ home at quarter past seven. Everyone on my basketball team was warming up when I _____ at the gym. We had four games, so I was really tired when I got home. I _____ asleep on the sofa while I _____ TV, and my dad _____ me up.

D 昔よくしていたこと・今は違う過去の状態を表す

- ① I **used to** spend my summer vacation with my cousins.
- ② There **used to** be a park next to my cousins' house.

G-GUIDE

- ① 今はもうしていないが、昔よくしていたことを表すときは、**used to** を使う (used to + 動詞の原形)。
- ② 今は違う以前の状態を表すときは、**used to** を使う。

TASK 小学生か中学生のころのことについて、used to を使って話してみよう。

- ① I used to play baseball on weekends, but now I play soccer.

- stay (at) home
- watch a TV drama
- read (comic) books
- relax
- enjoy oneself
- have fun
- have a great time
- be crowded

Self-Check (できることに✓を入れよう)

- ① 過去の状態や出来事を書けることができる。
- ② している最中だったことを表すことができる。
- ③ いつのことなのかを接続詞を使って表すことができる。
- ④ 昔よくしていたこと・今は違う過去の状態を表せる。

3 応用としての自己発信

A ACTIVE LEARNING

Happy Memories

SHARE 楽しかった思い出について話そう

① 楽しかった思い出を述べた次の文を読もう。

Last weekend when I was cleaning the garage, I happened to find my old baseball glove. My father bought it for me when I was little. I used to play catch with him. The glove brings back many happy memories.

② 上の例を参考に、自分の思い出を紹介する文を考え、メモにまとめよう。

どんなに楽しかったのかが変わるようにしよう。また、みんなに興味をもってもらえるような思い出を紹介しよう。

③ グループになって、順番に紹介しよう。

聞き手は発表者によかったところを伝えたり、質問をしたりしよう。

Self-Check

自分の思い出をわかりやすく伝えることができた。□□□□
相手に興味をもってもらえる話題を入れることができた。□□□□

WRITE ある日の出来事について書こう

① ある日の出来事を述べた次の文を読んで、[] から適語を選び、空所を埋めよう (必要があれば形を変えること)。

Last Sunday I () to an amusement park with my friend. It () a nice day, and there were a lot of people at the park. We went on some of the rides and () a parade. We () a great time there.

[watch / have / go / be]

② 家族や友だちとの思い出・自分ひとりの思い出などを、40語程度で書いてみよう。

Self-Check

思い出について、40語程度で表現することができた。□□□□
「いつ/どこで/だれと/何を/したのか」を示すことができた。□□□□

LOGICAL THINKING

楽しい思い出について伝えるときは、最初に「いつ/どこで/だれと/何を/したかなど大きなことを述べ、そのあとに「場所の特徴」や「出来事の詳細」のような情報を続けます。最後に「楽しかった」「有意義な体験だった」などの感想で締めくくると、話がまとまります。

ACTIVE LEARNING

設定されたテーマにそって話す・書くという発信活動を行うことで、論理的に考え、判断し、表現する力を身につけます。

① 今とは違う過去の状態や出来事

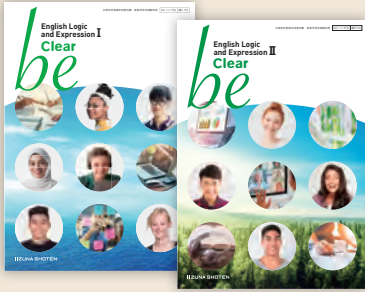
TASK 小学生か中学生のころのことについて、used to を使って話してみよう。

① I used to play baseball on weekends, but now I play soccer.

項目ごとに設定された TASK で理解を深める

- stay (at) home
- watch a TV drama

教科書 be Clear / Smart の比較



Clear
レベル★★
標準レベル
文法の確認と
定着



Smart
レベル★★★★
標準～発展レベル
文法の知識を
言語活動に応用

各レッスンの違い

頁	該当部	Clear		Smart	
		I	II	I	II
① 導入	Start-Up	● 2.5 往復の会話 ● 和訳あり (巻末)	● 90～110 語程度の英文 ● 和訳あり (巻末)	● 3 往復の会話 ● 和訳なし	● 100～130 語程度の英文 ● 和訳なし
		INTERACTIONS	● 7 基本例文 ● 例文の和訳あり (巻末) ● 基本的な学習項目をカバー	● 6～8 基本例文	● 8 基本例文 ● 例文は英文のみ ● 基本+発展的な学習項目をカバー
CHECK TASK	● 文法の確認問題 CHECK 多め ● 指示文日本語			● 「やり取り」「発表」「書く」の TASK 多め ● 指示文日本語 ● すべて英語	
VOCABULARY	● 語句の和訳あり			● 語句の和訳なし ● より多くの語句を紹介	
③ 発展	SHARE	● スモール・ステップを踏んで、グループでの「やり取り」「発表」の活動につなげる ● 指示文日本語		● 例文を示し、グループでの「やり取り」「発表」の活動につなげる ● 指示文日本語 ● すべて英語	
	WRITE	● スモール・ステップで「書く」練習	● ヒントを参考に 50 語～80 語の英文を「書く」活動	● 空所補充問題で作文例を示し、まとまった英文を「書く」活動につなげる	● ヒントを参考に 80 語～140 語の英文を「書く」活動
		● 手紙・日記などさまざまな状況での「書く」活動 ● 指示文日本語		● エッセイ・説明文などさまざまな状況、形式の英文を「書く」活動 ● 指示文日本語 ● 指示文英語	
	INTERVIEW	—	● トピックに関連した問いに自分の意見を述べる	—	● トピックに関連した問いに自分の意見を述べる

be English Logic and Expression I/II 著作者

■ 平賀 正子
立教大学名誉教授
■ 鈴木 希明
中京大学特任講師

■ 前中 猛
白陵中学校・高等学校教諭
■ 伊藤 清
名古屋中学校・高等学校教諭
■ 谷口 幸夫
明星大学講師・達ゼミHybrid代表

■ 田中 孝典
静岡県立焼津中央高等学校教諭
■ 川又 克己
渋谷教育学園幕張中学校・高等学校教諭
■ 萱原 雅弘
元東京家政学院大学教授

文法の理解を深めながら、言語活動を通して
論理的に表現する力を養成する。

文部科学省検定済教科書 高等学校外国語科用 231 いいずな 論I 718

be

English Logic and Expression I Smart



IIZUNA SHOTEN

Contents

Introduction 「やり取り」「発表」「書く」のためのウォーミングアップ

Step 1 : 自分を表そう! p.7

[英語の語順] 1. 主語+動詞 2. 主語+動詞+補語 3. 主語+動詞+目的語 4. 主語+動詞+目的語+目的語 5. 主語+動詞+目的語+補語
名詞の使い方/形容詞と副詞の使い方/動詞の使い方

Step 2 : 情報を聞き出そう! p.15

[英語の文の種類] 1. 平叙文 2. 疑問文

Step 3 : 文章にまとめて発表しよう! p.18

[英語の文のつなぎ方] 1. 文と文をつなぐ接続詞 2. 文を文に組み込む・加える接続詞

文法を軸としたレッスン構成

1st Zone 自分のことや身近な人のことを話す

Point 動詞の形・時制

LESSON 1 Meeting People 自分のことを話す pp.21-24

Start-Up Conversation

FORMS 現在のことは現在形で表す

EXPRESSIONS あいづちで関心を示す

SOUNDS /l/と/t/の発音

TALK

INTERACTIONS Talking about yourself or people close to you

A 現在の状態を表す

B いつもすることを表す

C している最中のことを表す

D これからの予定を表す

VOCABULARY

現在形：状態動詞

現在形：動作動詞

現在進行形

現在進行形・現在形：予定

ACTIVE LEARNING

Introducing Yourself

SHARE 自己紹介をしよう

WRITE いつもの行動を書こう

LOGICAL THINKING

LESSON 2 Holidays and Weekends 休日・週末にしたことを話す pp.25-28

Start-Up Conversation

FORMS 過去のことは過去形で表す

EXPRESSIONS 相手の発言を聞き直す

SOUNDS /t/と/d/の発音

TALK

INTERACTIONS Talking about holidays and vacations

A 過去の状態や出来事を表す

B している最中だったことを表す

C 一つのことなのかを接続詞を使って表す

D 昔よくしていたこと・今は違う過去の状態を表す

VOCABULARY

過去形

過去進行形

過去形・過去進行形

used to

ACTIVE LEARNING

Happy Memories

SHARE 楽しかった思い出について話そう

WRITE ある日の出来事について書こう

LOGICAL THINKING

LESSON 3 Making Plans 予定について話す pp.29-32

Start-Up Conversation

FORMS 未来のことを will や be going to で表す

EXPRESSIONS 情報をたずねる

SOUNDS ea の発音

TALK

INTERACTIONS Talking about plans and predictions

A しようと思うこと・そうなると思うことを表す

B するつもりでいること・そうなりそうであることを表す

C しているであろうこと・することになっていることを表す

D 「～したら」「～なら」を接続詞を使って表す

VOCABULARY

will

be going to

will be + ing形

when/ifのあとの現在形

ACTIVE LEARNING

Making Plans

SHARE 休日の計画を話そう

WRITE 休日の計画を書こう

LOGICAL THINKING

LESSON 4 Travel 旅行について話す pp.33-36

Start-Up Conversation

FORMS 今とつながりがあることを現在完了形で表す

EXPRESSIONS 話を切り出す

SOUNDS /f/と/v/の発音

TALK

INTERACTIONS Talking about travels and experiences

A 完了していること・その結果としての状況を表す

B 今までの経験を表す

C 継続している状態・継続している動作を表す

D 最近のことを表す・過去のことであることを示す

VOCABULARY

現在完了形：完了・結果

現在完了形：経験

現在完了形・現在完了進行形：継続

現在完了形・過去形

ACTIVE LEARNING

Travel

SHARE 旅に関する経験を話そう

WRITE 旅先からメール・はがきを書こう

LOGICAL THINKING

KEEP TALKING Scene ① 移動する p.37

Communication TIPS ① 言外の意味 p.38

LESSON 5 Study and Activities 学習・課外活動について話す pp.39-42

Start-Up Conversation

FORMS 過去のある時点までのことを過去完了形で表す

EXPRESSIONS 相手に同意を求める

SOUNDS 語尾の ed の発音

TALK

INTERACTIONS Talking about learning and school activities

A 完了していたこと・経験していたことを表す

B 継続していたことを表す

C 過去のある時点より前のことを表す

D 未来のある時点までのことを表す

VOCABULARY

過去完了形：完了・経験

過去完了形・過去完了進行形：継続

過去完了形：大過去

will have + 過去分詞

ACTIVE LEARNING

Study and Activities

SHARE 「何かができなかった」理由を話そう

WRITE 学習や課外活動について書こう

LOGICAL THINKING

1st Zone REVIEW 時と状況の表し方(動詞の形) p.43

2nd Zone 日々の生活のことを話す

Point 助動詞・受動態

LESSON 6 Food 食べ物について話す

pp.45-48

Start-Up Conversation

- F**ORMS できることを can を使って表す
- E**XPRESSIONS お礼を言う
- S**OUNDS つながる音
- T**ALK

INTERACTIONS Talking about food

- A** できること・できないことを表す can / be able to
- B** 可能性があること・ないことを表す can / can't
- C** 「してもよい」という許可や「そうかもしれない」という推量を表す may / might
- D** 過去のことについての推量を表す may [might] have + 過去分詞

VOCABULARY

- KEEP TALKING Scene ② 食事をする p.49
- KEEP TALKING Scene ③ 買い物をする p.50

ACTIVE LEARNING

- Food
- S**HARE 好きな食べ物について話そう
- W**RITE 好きな [苦手な] 食べ物について書こう

LOGICAL THINKING

LESSON 7 School Life 学校生活について話す

pp.51-54

Start-Up Conversation

- F**ORMS しなければならないこと・すべきことを表す
- E**XPRESSIONS 理由をたずねる
- S**OUNDS 消える音
- T**ALK

INTERACTIONS Talking about school life

- A** しなければならないことを表す must / have to
- B** すべきことを表す should / had better
- C** 確信していることや推測を表す must / should
- D** 過去のことについての確信や後悔を表す must / should have + 過去分詞

VOCABULARY

ACTIVE LEARNING

- School Rules
- S**HARE 学校の規則について話そう
- W**RITE 何か目的のために「しなければならないこと・すべきこと」を書こう

LOGICAL THINKING

LESSON 8 Daily Life 日常生活について話す

pp.55-58

Start-Up Conversation

- F**ORMS would を使って依頼をする
- E**XPRESSIONS 依頼を受け入れる・断る
- S**OUNDS th の発音
- T**ALK

INTERACTIONS Talking about everyday life

- A** 意志があることを表す will / would
- B** 過去によくしたことを表す would often
- C** そうだろうと思っていることを表す will / would
- D** 依頼や提案内容を表す will / can / shall

VOCABULARY

- KEEP TALKING Scene ④ 道をたずねる p.59
- KEEP TALKING Scene ⑤ 電話で話す p.60

ACTIVE LEARNING

- Home
- S**HARE 家事の依頼をしよう
- W**RITE 家事の依頼を書こう

LOGICAL THINKING

LESSON 9 Transportation Issues 交通機関の問題について話す

pp.61-64

Start-Up Conversation

- F**ORMS 「される」「された」を受動態で表す
- E**XPRESSIONS 話しかける
- S**OUNDS /ɔ:/ と /oʊ/ の発音
- T**ALK

INTERACTIONS Talking about transportation and buildings

- A** 何かをされた・されることを表す 受動態の基本形
- B** 何が・いつ・どこでされたのかをたずねる 受動態の疑問文
- C** 受動態で進行中の意味や完了形の意味を表す 進行形・完了形の受動態
- D** 感情を受動態で表す 感情を表す受動態

VOCABULARY

- 2nd Zone REVIEW 助動詞の意味と受動態の使い方 p.65
- スピーチをしてみよう! p.66

ACTIVE LEARNING

- Transportation Issues
- S**HARE 通学路・交通施設における問題を話そう
- W**RITE 交通における問題を減らす方法を考えよう

LOGICAL THINKING

3rd Zone したいことやしていることを話す

Point 不定詞・動名詞・分詞

LESSON 10 The Future 将来したいことについて話す

pp.69-72

Start-Up Conversation

- F**ORMS 「～すること」を不定詞で表す
- E**XPRESSIONS 励ます
- S**OUNDS /m/ と /n/ の発音
- T**ALK

INTERACTIONS Talking about the future

- A** 「～すること」を主語や補語として表す 不定詞の名詞用法：主語・補語
- B** 「～すること」を目的語として表す 不定詞の名詞用法：目的語
- C** 疑問詞と不定詞で「何をすべきか」のような意味を表す 疑問詞+不定詞
- D** だれがするのを示す・「～しないこと」を表す 不定詞の意味上の主語と否定語

VOCABULARY

ACTIVE LEARNING

- The Future
- S**HARE 夢や目標について話そう
- W**RITE 夢や目標の実現に必要なと思うことを書こう

LOGICAL THINKING

LESSON 11 Staying Healthy 健康について話す

pp.73-76

Start-Up Conversation

- F**ORMS 情報を加えるために不定詞を使う
- E**XPRESSIONS 具合をたずねる
- S**OUNDS /ər/ と /ɔ:r/ の発音
- T**ALK

INTERACTIONS Talking about health and exercise

- A** 「～すべき」「～するための」という説明を名詞に加える 不定詞の形容詞用法
- B** 「～するために」という目的を表す 不定詞の副詞用法：目的
- C** 「～したことで」という原因や根拠を表す 不定詞の副詞用法：原因・根拠
- D** 形容詞に不定詞を続ける 形容詞+不定詞

VOCABULARY

- KEEP TALKING Scene ⑥ 病院に行く p.77
- Communication TIPS ② ノンバーバル・コミュニケーション p.78

ACTIVE LEARNING

- Staying Healthy
- S**HARE 健康維持に必要なと思うことを話そう
- W**RITE 健康について感じていることを書こう

LOGICAL THINKING

LESSON 12 New Products 新しい製品について話す pp.79-82

Start-Up Conversation

- F** **FORMS** 「人に～すること」を不定詞で表す
- E** **XPRESSIONS** 勧誘する
- S** **SOUNDS** o の発音
- T** **ALK**

- I** **NTERACTIONS** Talking about technology
 - A** 「人に～してほしい・することを許す」を表す SVO+不定詞
 - B** 「人に～してもらい・させる」を表す 使役動詞+名詞+動詞の原形
 - C** 「人・何かが～するのを見る」を表す 知覚動詞+名詞+動詞の原形
 - D** 不定詞を進行形・受動態・完了形で使う 不定詞の進行形・受動態・完了形
- V** **OCABULARY**

- A** **CTIVE LEARNING** New Products
- S** **HARE** 便利な電化製品を紹介しよう
- W** **RITE** 最近の製品について書こう
- L** **OGICAL THINKING**

LESSON 13 Hobbies and Interests 趣味・関心について話す pp.83-86

Start-Up Conversation

- F** **ORMS** 「～すること」を動名詞で表す
- E** **XPRESSIONS** 同じだと言う
- S** **SOUNDS** /g/ と /gg/ の発音
- T** **ALK**

- I** **NTERACTIONS** Talking about hobbies and interests
 - A** 「～すること」を主語や補語として表す 動名詞：主語・補語
 - B** 「～すること」を目的語として表す 動名詞：目的語
 - C** だれがするのかわを示す・「～しないこと」を表す 動名詞の意味上の主語と否定語
 - D** 動名詞を受動態・完了形で使う 動名詞の受動態・完了形
- V** **OCABULARY**

- A** **CTIVE LEARNING** Sharing Interests
- S** **HARE** 趣味・興味について話そう
- W** **RITE** 積極的に取り組んでいることを書こう
- L** **OGICAL THINKING**

EXTENSION 趣味や興味を将来の夢につなげよう! p.87
Communication TIPS ③ 相手に応じたことばづかい p.88

LESSON 14 The World of Nature 自然について話す pp.89-92

Start-Up Conversation

- F** **ORMS** 「～する」「～された」という状況を分詞で説明する
- E** **XPRESSIONS** 感情を表す
- S** **SOUNDS** /s/ の発音
- T** **ALK**

- I** **NTERACTIONS** Talking about the natural world
 - A** 「～する」「～された」という説明を名詞に加える 分詞の限定用法
 - B** 分詞形の形容詞を使う 分詞形容詞
 - C** keep や remain に分詞を続けて「～のまま」を表す 分詞の叙述用法
 - D** 分詞を使って状況を表す 分詞を使う表現
- V** **OCABULARY**

- A** **CTIVE LEARNING** The World of Nature
- S** **HARE** 自然・動植物について話そう
- W** **RITE** 自然・生態系が直面している問題を考えよう
- L** **OGICAL THINKING**

LESSON 15 Trouble and Accidents トラブル・事故について話す pp.93-96

Start-Up Conversation

- F** **ORMS** 「何かを～してもらう」を分詞を使って表す
- E** **XPRESSIONS** 同情・共感を表す
- S** **SOUNDS** /ʌ/ と /ə/ の発音
- T** **ALK**

- I** **NTERACTIONS** Talking about problems, accidents, and incidents
 - A** 「人・何かを～させる・される」を表す SVO+分詞
 - B** 「人・何か～している・されるのを見る」を表す 知覚動詞+名詞+分詞
 - C** 分詞を使って情報を加える 分詞構文
 - D** その時点で状況を with を使って表す with+名詞+分詞
- V** **OCABULARY**

- A** **CTIVE LEARNING** Trouble and Accidents
- S** **HARE** 困った出来事を報告しよう
- W** **RITE** 事故や困った出来事などを報告しよう
- L** **OGICAL THINKING**

3rd Zone REVIEW 準動詞(不定詞・動名詞・分詞)のはたらき p.97
 パラグラフを書いてみよう! p.98

4th Zone 説明する・自分の考えを話す Point 関係詞・比較表現

LESSON 16 Technology and Invention 技術・発明について考える pp.101-104

Start-Up Conversation

- F** **ORMS** 関係代名詞を使って名詞に説明を続ける
- E** **XPRESSIONS** 感想をたずねる
- S** **SOUNDS** /æ/ の発音
- T** **ALK**

- I** **NTERACTIONS** Talking about inventions and breakthroughs
 - A** それ何をするのか説明を続ける 関係代名詞：主格
 - B** 人・何かがそれをどうするのか説明を続ける 関係代名詞：目的格
 - C** それ何かがどうするのか説明を続ける 関係代名詞：所有格
 - D** 関係代名詞を前置詞の目的語として使う 前置詞と関係代名詞
- V** **OCABULARY**

- A** **CTIVE LEARNING** Technology and Invention
- S** **HARE** 発明品について話そう
- W** **RITE** 技術や発明について書こう
- L** **OGICAL THINKING**

LESSON 17 Achievements 達成したことを話す pp.105-108

Start-Up Conversation

- F** **ORMS** 関係代名詞を使って情報を加える
- E** **XPRESSIONS** お祝いと言う
- S** **SOUNDS** 語尾のs の発音
- T** **ALK**

- I** **NTERACTIONS** Talking about achievements
 - A** 名詞に情報を加える 関係代名詞：非限定用法
 - B** 述べた内容に情報を加える which：節や句が先行詞
 - C** 情報を加える範囲を示す some of which / both of whom
 - D** 関係代名詞 what を使って「～すること」を表す 関係代名詞：what
- V** **OCABULARY**

- A** **CTIVE LEARNING** Achievements
- S** **HARE** 偉人の功績を紹介しよう
- W** **RITE** 達成したことについて書こう
- L** **OGICAL THINKING**

LESSON 18 Cities and Towns 都市・町について話す pp.109-112

Start-Up Conversation

- F** **ORMS** 関係副詞を使って名詞に説明を続ける
- E** **XPRESSIONS** 感情を伝える
- S** **SOUNDS** /u/ と /u:/ の発音
- T** **ALK**

- I** **NTERACTIONS** Talking about communities
 - A** 場所や時について説明する 関係副詞：限定用法
 - B** 場所や時について情報を加える 関係副詞：非限定用法
 - C** 「～する理由」「～する方法」を表す 関係副詞：why / how
 - D** 「何でも・いつでも」を表す 複合関係詞
- V** **OCABULARY**

- A** **CTIVE LEARNING** Cities and Towns
- S** **HARE** 修学旅行のプレゼンテーションをしよう
- W** **RITE** 偉人ゆかりの都市を紹介しよう
- L** **OGICAL THINKING**

for ACTIVE LEARNING 世界の都市とゆかりの人物 p.113
 論理的に考えてみよう! p.114
 ディベートをしてみよう! p.116
 Communication TIPS④ 話の展開のしかた p.118

LESSON 19 Living Environment 生活環境について話す pp.119-122

Start-Up Conversation

FORMS 形容詞や副詞を使って比較する

EXPRESSIONS 存在を伝える

SOUNDS /k/と/g/の発音

TALK

INTERACTIONS Talking about living environment

A 比べる相手と同じくらいであることを表す **原級を使う比較**

B 比べる相手との差を倍数や分数で表す **倍数や分数を使う比較**

C 比べる相手と差があることを表す **比較級を使う比較**

D どの状況と比べているか・何と比べているかを示す **比較対象の示し方**

VOCABULARY

ACTIVE LEARNING Living Environment

SHARE さまざまな生活環境を比べよう

WRITE 海外の都市と身近な都市を比べよう

LOGICAL THINKING

LESSON 20 Social Problems 社会問題について話す pp.123-126

Start-Up Conversation

FORMS 形容詞や副詞の最上級を使って「最も～」を表す

EXPRESSIONS 提案する

SOUNDS 冠詞の発音

TALK

INTERACTIONS Talking about issues

A ほかのどれよりも上回っていることを表す **最上級を使う比較**

B 「最も～なひとつ」「2番目に～な」を表す **最上級を使う表現**

C 「ほかのどれも～ない」で最上級の意味を表す **原級・比較級の表現**

D 「できるだけ～」「～すればするほど」を表す **比較の表現**

VOCABULARY

ACTIVE LEARNING Social Problems

SHARE 社会問題について話そう

WRITE 日本の直面している問題について書こう

LOGICAL THINKING

4th Zone REVIEW 関係詞の使い方と比較の文のつくり方 p.127
 プレゼンテーションをしてみよう! p.128

5th Zone これからの自分や社会のことを話す *Point* 仮定法・接続詞

LESSON 21 Making a Wish 願い事について話す pp.131-134

Start-Up Conversation

FORMS 動詞の過去形を使って仮定の話をする

EXPRESSIONS したいことを言う

SOUNDS /t/と/i:/の発音

TALK

INTERACTIONS Talking about wishes and imagined situations

A 現実とは違うことや実現しそうなことを表す **仮定法過去**

B 過去の事実とは違うことを表す **仮定法過去完了**

C wish や If only を使って願望を表す **I wish / If only**

D 「まるで～のように」「～してもいいころだ」を表す **as if / It's time**

VOCABULARY

ACTIVE LEARNING Making a Wish

SHARE 就きたい職業について話そう

WRITE 願望について書こう

LOGICAL THINKING

LESSON 22 Cross-cultural Communication 異文化を理解する pp.135-138

Start-Up Conversation

FORMS 接続詞を使って文をつなぐ

EXPRESSIONS 助言を求める

SOUNDS /s/の発音

TALK

INTERACTIONS Talking about globalization and other cultures

A 「～ということ」「～かどうか」を接続詞を使って表す **that / whether**

B 時・理由・条件を接続詞を使って表す **when / because / if**

C 「～だけれど」を接続詞を使って表す **although / though**

D 論理的なつながりを副詞を使って表す **接続副詞**

VOCABULARY

ACTIVE LEARNING Globalization

SHARE グローバル化について意見交換しよう

WRITE 異文化理解について書こう

LOGICAL THINKING

LESSON 23 Giving Opinions 意見を述べる pp.139-142

Start-Up Conversation

FORMS that 節を使って主張や伝聞内容を示す

EXPRESSIONS 意見を言う・相手の意見に反応する

SOUNDS /p/と/b/の発音

TALK

INTERACTIONS Talking about what you think and hear

A 重要なことや要求・提案内容を表す **that 節で使う原形**

B 「とても～なので」「～するように」を表す **so ~ that / so that**

C 「～と言われている」を表す **It is said that**

D 確実性や可能性を表す **It is certain that**

VOCABULARY

ACTIVE LEARNING Giving Opinions

SHARE 問題について意見を述べよう


WRITE 地球で起きている問題を書こう

LOGICAL THINKING

5th Zone REVIEW 文をつないで意味を表す(接続のしかた) p.143
 ディスカッションをしてみよう! p.144
 付録:群動詞(句動詞) p.146
 発音記号と発音のしかた p.148
 Functional Index(機能別さくいん) p.150
 Lexical Index(語い別さくいん) p.151

QRコードについて

本教科書では紙面上のQRコードを読み取ることでモデル会話や発音、例文などの音声や動画を聞いたり、発音の動画を見たりすることができます。音声や動画を再生する際にはデータ通信を行うため、通信事業者に対する通信料が発生します。長時間ご視聴の場合は、Wi-Fi環境でのご利用を推奨します。



1st Zone

自分のことや身近な人のことを話す

1st Zoneでは、自分のことや身近な人のことを話すことができるようにします。自分や家族のことを紹介したり、週末や休日にしたこと、今後の予定、旅行の思い出、そして学習や課外活動について話したりします。

ペアやグループで会話をするときには、相手の話をよく聞いて、それに反応したり問いかけたりすることで会話が続くようにしましょう。文章を書いたり発表したりするときには、自分の伝えたいことが伝わるような正しい英語になっているかどうか、相手に伝わるような話し方ができているかどうか意識しましょう。このZoneでは、いつのことを表すのかに注意して、英語の動詞を正しい形で使えるようにします。

LESSON 1 Meeting People

LESSON 2 Holidays and Weekends

LESSON 3 Making Plans

LESSON 4 Travel

LESSON 5 Study and Activities

LESSON

1

Meeting People

自分のことを話す

Start-Up Andy and Kenta are talking in the classroom. They have just become friends.

Andy: What do you usually do after school, Kenta?

Kenta: Me? I'm in the soccer club, so **I play soccer every day except Monday.**

Andy: **Really!** You must be very busy! But you're free on Mondays and weekends, right?

Kenta: Actually, I go to cram school every Monday.

On weekends, **we sometimes have soccer games.**

Andy: Wow! You don't have much free time.

Kenta: No, not much. When there's no game on weekends, I like to hang out with my friends.



・ hang out with : ~と遊ぶ

Tips for Better Communication

相手からの問いかけに答えたら、関連する情報を1つ加えましょう。新しい情報が加わることで新たな興味や関心が生まれ、会話が続きます。



文法の解説

FORMS 現在のことは現在形で表す

住んでいる所や持っているもの、入っている部活のような現在の状態や、日々の暮らしの中でいつもすることを表すときは、**動詞の現在形**を使います。

動詞の現在形が表すのは「今」という一時点だけでなく、過去から現在、そして未来へと広がる時の範囲です。したがって、playのような動きを表す動詞の現在形は、繰り返すようなことを表します。I play soccer.だけで、「**会話中の機能表現**」を表すことができます。

QRコードを読み取ると、音声を聞いたり、発音の動画を見たりすることができます。

EXPRESSIONS あいづちで関心を示す

あいづちを打つことで、相手の話に関心をもっていることを伝えることができます。**Really!**は、下がり口調なら「そうなんだ!」、**Really?**と上がり口調なら「そうなの?」というニュアンスになります。理解を示すときはI see.やI understand. いい話だと思えば That's nice. よくない話なら That's too bad. のような表現を使います。 **QRコードで動画解説**

SOUNDS /l/と/r/の発音

/l/は舌先を上歯茎にあてて発音し、/r/は舌先をどこにもつけず舌全体をうしろに引いて発音します。

▶ like, live, club, play, usually, actually, school / really, right, friend, free, cram, every, very
light / right, lead / read, glass / grass, collect / correct

TALK

会話の内容を確認し、AndyとKentaになりきって会話をしてみよう!

会話中の英語らしい表現

Pick-Up

入っている部活動は、**I'm in the soccer club.** のように言えば簡単です。I belong to (私は…に所属している)だと少しかたい表現になります。運動部なら、I'm on the tennis team. のように言うこともできます。

早口ことば (tongue twister)

2. 定着 文法・表現の理解と定着

8つの例文と簡潔な解説で、文法と表現のしかたを学習

I INTERACTIONS Talking about yourself or people close to you

A 現在の状態を表す

現在形：状態動詞

- ① I **like** cats very much.
- ② My uncle **has** two cars.

F-GUIDE

文法 (FORMS) の解説

- ①「～が好きだ」「～だと思う」のように現在の心理的な状態を表すときは、動詞の**現在形**を使う。
- ②「～を持っている」「～に住んでいる」のように現在の状態を表すときも、動詞の**現在形**を使う。

TASK

与えられた動詞を使って、自分や身近な人に関する3つの文を書いてみよう(同じ動詞を2度使わないこと)。それぞれの文には、情報を1つずつ加えよう。

[believe / know / like / love / remember / need / want / have / live / resemble]

例 I love rock music. I'm in a band.

My brother doesn't like vegetables. He especially hates celery.

TASK

自分が書いたことを話してみよう。

言語活動を通して
表現力を身につける

B いつもすることを表す

現在形：動作動詞

- ③ I *usually* **get** to school at 8:30.
- ④ My mother **teaches** biology at a high school.

F-GUIDE

- ③繰り返すことや習慣になっていることを表すときは、動詞の**現在形**を使う。**usually**のような副詞を使うと頻度を表すことができる(always > usually > often > sometimes > rarely > never)。
- ④職業や習性、話す言語などを表すときも、動詞の**現在形**を使う。

TASK

自分や身近な人がいつもすることについて会話をしてみよう。

例 A: What do you do in your free time?

B: I usually read books. I like Murakami Haruki.

A: Really? I like Murakami, too.

B: Wow! That's great!

機能表現 (EXPRESSIONS) を活用

E-GUIDE

相手の発言内容に対して感じたことをあいづちで表現しよう。

- ・ I see. ・ I think so, too. ・ I can't believe it! ・ Really? ・ No way!
- ・ That's nice [good/great/wonderful/fantastic]. ・ That's too bad. ・ Is that true? ・ Yes, indeed.
- ・ You're kidding! ・ Are you serious?

V VOCABULARY

レッスンのテーマについて
発信する際に役立つ語彙・フレーズ

- | | | | |
|---------------------|-----------------------|---------------------|----------------------|
| ・ wake up | ・ set one's hair | ・ water the plants | ・ go to the library |
| ・ wash one's face | ・ have breakfast | ・ leave for school | ・ go to cram school |
| ・ take a shower | ・ have [drink] coffee | ・ talk with friends | ・ do club activities |
| ・ brush one's teeth | ・ get dressed | ・ use a computer | ・ do one's homework |



TASK ▶ ある人の職業の説明を聞いて、その職業が何かを英語で答えよう。聞いた説明を書きとってみよう。🔊

ひと目でわかる学習文法項目

C している最中のことを表す

現在進行形

- ⑤ I'm **writing** an essay for my English class.
⑥ I think my cat **is getting** fat.

F-GUIDE

- ⑤ している最中のことを表すときは、**現在進行形** (am/are/is + 動詞のing形) を使う。
⑥ 変化している途中のことや一時的な状態を表すときも、**現在進行形** を使う。

TASK ▶ 📷 写真に写っている人を指差しながら、その人(たち)がしていることを英語で表そう。



TASK ▶ の種類がひと目でわかる
アイコン表示

- 🗨️ やり取り
- 📢 発表
- 📝 書く

D これからの予定を表す

現在進行形・現在形：予定

- ⑦ My grandmother **is visiting** us *tomorrow*.
⑧ My brother **graduates** from college *this month*.

F-GUIDE

- ⑦ これからしようとしている個人的な**予定**を表すときに、**現在進行形**を使うことができる。
⑧ **現在形**を使って、**確定している予定**を表すこともある。

TASK ▶ 🗨️ 放課後、または週末の予定について会話をしてみよう。

例 **A:** What are you doing after class today [this weekend]?

B: I'm going to a concert with my sister. I'm really looking forward to it.

TASK ▶ 📝 確定している予定を書いてみよう。

例 The midterm exams start on May 20.

達成評価 (セルフチェックリスト)

Self-Check (できることに✓を入れよう)

- A** 現在の状態を表すことができる。
- B** いつもすることを表すことができる。
- C** している最中のことを表すことができる。
- D** これからの予定を現在(進行)形で表すことができる。

- ・ have dinner
- ・ watch a video
- ・ play the guitar
- ・ play video games
- ・ take a bath
- ・ come from
- ・ be a graduate of
- ・ be good at

「自己紹介」「いつもの行動」など、レッスンごとのテーマで自己発信をします。

ACTIVE LEARNING

Introducing Yourself

SHARE

自己紹介をしよう

グループでの言語活動



- ① 自己紹介をしている次の文を読もう。

I'm Honda Kenta. I'm a graduate of Higashi Junior High School. I like soccer very much. I'm on the school soccer team and we practice every day. I think I'm outgoing. I hope I can make a lot of friends here.

- ② 上の例を参考に、自己紹介の文を考えて、メモにまとめよう。

自分の好きなことや性格、これからの目標などを入れてみよう。

- ③ グループになって、順番に自己紹介をしよう。

- ・ Hello, everyone! で始め、最後に Thank you for listening. Do you have any questions? とたずねよう。
- ・ 聞き手は発表者に質問を1つしよう。

⇒ 質問を考えながら聞くことで、相手の話をよりアクティブに聞くことになります。

例 How long have you played soccer? / Do you like any other sports?

Self-Check

自分のことについて伝えることができた。③ ② ①

聞き手とアイコンタクトをとって話すことができた。③ ② ①

③: よくできた。②: まあまあできた。①: あまりできなかった。

テーマについての英文を作成

WRITE

いつもの行動を書こう

- ① いつもの朝の行動を述べた文を読んで、[] から適語を選び、空所を埋めよう。

I () up at seven in the morning. After I wash my face and get dressed, I always () a traditional Japanese breakfast with my family. I () home at eight and get to school by eight-thirty.

[have / leave / get]

- ② 自分の毎朝の行動 (morning routine) や帰宅後の行動 (evening routine) を40語程度で書いてみよう。

接続詞andを使って、時間の流れにそって行動を説明しよう。

Self-Check

いつもの行動について、40語程度で表現することができた。③ ② ①

時間の流れにそって、自分の行動を適切な動詞を使って書くことができた。③ ② ①

③: よくできた。②: まあまあできた。①: あまりできなかった。

LOGICAL THINKING

発信するための論理的な考え方

「朝の行動」や「帰宅後の行動」など、いつもの行動を伝えるときは、時間の流れにそって話したり書いたりします。短い文が続くときは、接続詞andを使って文をつなぐと不要な繰り返しが省けます。I wash my face and get dressed. ではandのあとにIを入れる必要はありません。

Living Environment

生活環境について話す

Start-Up Sally and Hiroki are talking about the good points and the bad points of Tokyo.

Hiroki: Sally, how do you like living in Tokyo?

Sally: It's definitely easy to get around in Tokyo. In my hometown **there aren't any trains or subways.**

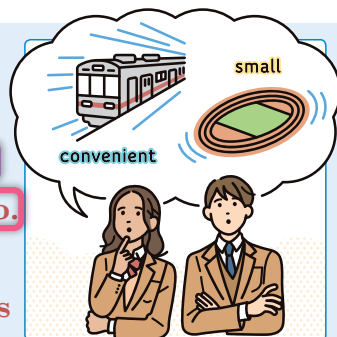
Hiroki **Most big cities are not as convenient as Tokyo.**

And the bad points?

Sally: Well, there's not much space. **The school grounds and sports fields are much bigger in the U.S.**

Hiroki: I guess every place has its good points and bad points, right?

Sally: There's no question about that. But now I'm having a great time here.



Tips for Better Communication

文末に **right?** を加えて、「ですよね?」「そうでしょ?」と、自分の発言が正しいかどうかを相手に確認することができます。カジュアルな場面でよく使われる表現で、相手の発話を促す効果があります。



学習事項を色分けて表示

FORMS 形容詞や副詞を使って比較する

何かと何かを比べて「同じくらいだ」と言うときは、〈**as + 形容詞・副詞の原級 + as**〉で表します。**as convenient as** Tokyo は、「東京と同じくらい便利だ」という意味です。**not as convenient as ...** のように否定文にすると、「…ほど便利でない」のように、比べている相手に及ばないことを表します。

比べる相手と差があって、「…よりも〜だ」と言いたいときは、〈**形容詞・副詞の比較級 + than**〉を使います。The school grounds **are much bigger** in the U.S. は「アメリカ合衆国では校庭が（東京よりも）かなり広い」という意味です。東京と比べていることは会話の流れから明らかなので、**than in Tokyo** が省略されています。また、**much bigger** の **much** は比較級が表す意味を強調するために使われています。

EXPRESSIONS 存在を伝える

「…がある」という何かの存在を伝えたいときに、**There is/are ...** を使います。be 動詞のあとに続く名詞が複数であれば **are** を使います。There's no question about that. の There's は There is の省略形です。

SOUNDS /k/ と /g/ の発音

/k/ (無声音) と /g/ (有声音) は、舌の後部と口の奥で呼気の流れを止めてから、一気に開放して発音します。

👉 convenient, clean, key, school, like, luck / get, ground, guess, good, great, big

TALK 🗣️

会話の内容を確認し、Hiroki と Sally になりきって会話をしてみよう!

Pick-Up

How do you like living in Tokyo? は「東京で暮らすのってどう?」という意味です。相手の意見や感想をたずねるときに〈How do you like + 名詞 [動名詞]?〉を使います。例 How do you like school? (学校はどう?)

I INTERACTIONS Talking about living environment

A 比べる相手と同じくらいであることを表す

原級を使う比較

- ① That high-rise apartment building is **as tall as** Nagoya TV Tower.
- ② This town doesn't have **as many supermarkets as** my town.

F-GUIDE

- ① 「同じくらい〜だ」という意味を表すときは、〈**as + 形容詞・副詞の原級 + as**〉を使う。比べる相手を示すほうのbe動詞・助動詞などは、意味が明らかであれば省略できる(as Nagoya TV Tower (is))。
- ② 否定文にすると「比べる相手ほど…ではない」となる。数量を比べる場合は、〈**as many/much + 名詞 + as**〉を使う。

TASK 生活環境に関することで、ほかと比べて「同じくらいだ」「それほどではない」と言えるものについて話そう。

例 My room is as big as my sister's. Since I don't have as many clothes as my sister, my room looks spacious.

CHECK で文法の確認 + **TASK** 言語活動に活用

B 比べる相手との差を倍数や分数で表す

倍数や分数を使う比較

- ③ This park is *twice as large as* Tokyo Dome.
- ④ Rents in the suburbs are about *two-thirds as high as* in the city center.

F-GUIDE

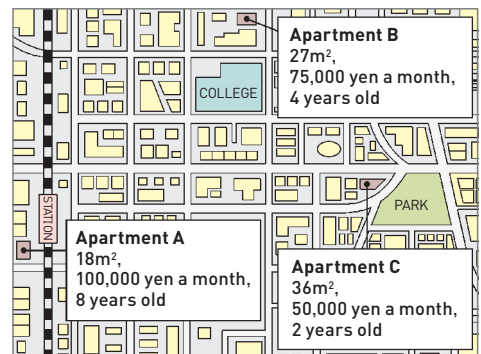
- ③ 比べる相手との差を倍数で表すときは、〈**倍数 + as + 原級 + as**〉を使う。
- ④ 比べる相手との差を分数で表すときは、〈**分数 + as + 原級 + as**〉を使う。「2分の1」はhalf。

CHECK 与えられた語を使って空所を埋め、英文を完成させよう。

1. This city has () () () people as the city I live in. [twice]
2. We had only () () () snow this year as last year. [one-third]

TASK ある大学生が一人暮らしをしようと思い、アパートの候補を次の3つに絞りました。ペアになってそれぞれの物件を比較し、自分ならどこに住むか話し合ってみよう。

例 The rent of Apartment A is twice as expensive as Apartment C, and the space is two thirds as big as Apartment B. However, my top priority in choosing a place to live is its location. So, I will choose Apartment A.



V VOCABULARY

- comfortable
- stressful
- surroundings
- medical costs
- lively
- humid
- the population
- child raising
- quiet
- the climate
- fresh air
- prices
- relaxing
- the atmosphere
- noise pollution
- rents



C 比べる相手と差があることを表す

比較級を使う比較

- ⑤ The countryside is **quieter than** the city.
- ⑥ Our new house is **much more spacious than** our old one.

F-GUIDE

- ⑤ 差があることを表すときは、〈形容詞・副詞の比較級 + **than**〉を使う。数量に差がある場合は〈**more** + 名詞 + **than**〉とする。
- ⑥ 差が大きいことは **much / far / a lot** を、差が小さいことは **a little / a bit** を比較級の前に入れて表す。

CHECK 音声聞いて英文を完成させよう。

1. _____ this morning. I left my house _____, but I couldn't make it to work on time.
2. _____ near the station. It has _____ in the next town.

E-GUIDE

何かの存在を相手に伝えるときは **There is/are ...** を使う。

- ・ There are a lot of people gathering in the park. ◀ 伝えるものが複数なら **be** 動詞は **are** となる。
- ・ There used to be a movie theater here.

「～がある」と言うときに **have** を使って表すこともある。→ **We have four classes today.**

TASK 大都市と小さな町を比べたうえで、どちらに住みたいかペアで話してみよう。

- 例 A: The cost of living is much higher in cities than in small towns.
- B: That's because rent is higher in urban areas, right?
- A: Yes. And there are so many people living in big cities, which I don't like.

D どの状況と比べているか・何と比べているかを示す

比較対象の示し方

- ⑦ My hometown does not have **as many schools as** it used to.
- ⑧ The population of Kobe is **a bit larger than** that of Kyoto City.

F-GUIDE

- ⑦ 主語の以前の状況や本来の状況、思っていた程度などと比べることができる。
- ⑧ 比べる相手を示す名詞の重複を避けるときは **that/those** を使う。

CHECK 与えられた語句を使って空所を埋め、英文を完成させよう。

1. Living in this area is not as expensive _____.
2. This house is much larger _____. [look]
3. The climate here is milder _____. [my hometown]

次ページでの活動と文法項目の関連も明示

⇒ ACTIVE LEARNING の SHARE の活動 (p.122) で、C と D の表現を活用しよう。

- ・ utility costs
- ・ barrier-free
- ・ a nursing home
- ・ a neighborhood
- ・ a residential area
- ・ a condominium
- ・ an apartment
- ・ a suburb

Self-Check (できることに✓を入れよう)

- A 比べる相手と同じくらいであることを表すことができる。
- B 比べる相手との差を倍数や分数で表すことができる。
- C 比べる相手と差があることを表すことができる。
- D どの状況や何と比べているかを示すことができる。

ACTIVE LEARNING

前ページまでに学んだ
文法項目との対応を表示

Living Environment

SHARE さまざまな生活環境を比べよう



① 都会での生活について述べた次の文を読もう。

I prefer to live in the city rather than the country because the city is more exciting. There are lots of shops and restaurants in the city and everything is very convenient, especially transportation. Although the city is much noisier than the country, I think the city is the best place to live.

② 都会と地方、戸建てと集合住宅など、さまざまな生活環境があります。「老後に暮らすなら地方か、都会か [戸建てか、集合住宅か]」というテーマについて、グループで話し合おう。

- ・ 都会派と地方派に分かれて、それぞれよいと思う点を2つ挙げて、その根拠も書き出そう。
- ・ 都会派と地方派で、交互に意見を述べよう。

Self-Check

自分の意見とその根拠をはっきり伝えることができた。③②①
相手の意見を聞いて理解することができた。③②①

WRITE 海外の都市と身近な都市を比べよう

① 海外の都市と身近な都市を比較した文を読んで、[] から適語を選び、空所を埋めよう（必要があれば形を変えること）。

I think Vancouver is a () city than Tokyo because it's less noisy and less crowded. The population density of Vancouver is about one-third as () as that of Tokyo, so I think life is () in Vancouver than in Tokyo. However, I don't know if Vancouver is as () as Tokyo.

[high / relaxing / convenient / easy]

② 海外の好きな町を選んで、あなたの住んでいる町や知っている町とどのように違うか調べてみよう。そして2つを比較しながら、その海外の町を紹介する文章を、50語程度で書いてみよう。

比較の観点は、気候、人口、交通、治安、公共サービスなどを参考にしよう。

Self-Check

身近な都市と海外の都市の比較について、50語程度で表現することができた。③②①
特定の観点に基づいて2つのものを比較できた。③②①

LOGICAL THINKING

ある意見に反論するとき、その意見に隠れている「前提」を疑うと効果的な場合があります。たとえば「地方は自然が豊かだから老後は地方に住むべきだ」という主張には、「老後は自然が豊かな場所に住むべきだ」という前提が隠れています。「なぜ老後に自然が豊かな場所に住むのがよいと言えるのか」とたずねることで、論理的に反論することができます。

Active Learning や言語活動に活用できる資料ページ。

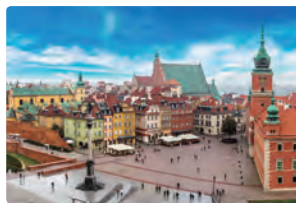
for ACTIVE LEARNING

世界の都市とゆかりの人物



Boston (the U.S.)
John F. Kennedy
(1917-1963)

マサチューセッツ州の都市。アメリカ合衆国第35代大統領ケネディは、ボストン近郊生まれ。



Warsaw /wɔːrsɔː/ (Poland)
Frédéric Chopin
(1810-1849)

ポーランドの首都。作曲家・ピアニストであるショパンはワルシャワで育ち、主にパリで活躍。



Kamakura (Japan)
Minamoto no Yoritomo
(1147-1199)

神奈川県南部の都市で、鎌倉時代に幕府が置かれた。源頼朝は鎌倉幕府の初代将軍。



Los Altos (the U.S.)
Steve Jobs
(1955-2011)

シリコンバレー北部の都市。アップルの共同創設者ジョブズが少年時代を過ごした家がある。

World Cities Related to Historical Figures



Kolkata /kɑːlkátɑː/ (India)
Mother Teresa
(1910-1997)

インドの北東に位置する都市。ここでマザー・テレサは修道院を立ち上げ、多くの人を救った。



Mainz /mains/ (Germany)
Johannes Gutenberg
/johˈænis ɡúːtnbɜːrg/
(1398-1468)

ドイツ南西部の都市で、活版印刷を発明したグーテンベルクの出身地。彼のおかげでだれもが読書を楽しめるようになった。



Cape Town
(Republic of South Africa)
Nelson Mandela
(1918-2013)

南アフリカ第2の都市。ロベン島には、反アパルトヘイト運動を率いたマンデラが収容された刑務所がある。



Manchester (the U.K.)
Emmeline Pankhurst
/éməlɪn pæŋkɜːrst/
(1858-1928)

イングランド北西部の都市。同市出身のパンクハーストは、女性の地方参政権を求め、運動を起こした。

発信活動の手引き

英語での発信活動を効果的に行うための方法を紹介。
用例を見ながら、論理的な伝達方法の基本が学べます。

Presentation

プレゼンテーションをしてみよう!

情報や提案など、自分で調べたり練り上げたりしたものをわかりやすく説明するのが、プレゼンテーションです。話の展開についてはスピーチと同様です。提示する情報に説得力をもたせるために、グラフなどを使用しながら説明すると効果的です。

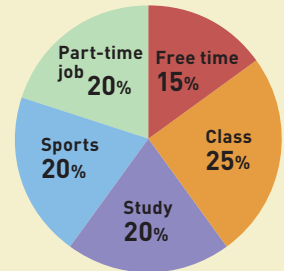
プレゼンテーションの手順はスピーチと同じように、I'd like to talk about や I'd like to discuss のような表現で始めます。いくつか論点がある場合は、I'll start with ... and then move on to のような表現を使うとよいでしょう。

では、「学生の時間の使い方」についてのプレゼンテーションの一部を見てみましょう。

概要と用例

This pie chart shows how typical students at Acton College use their time during the first year. As you can see, they spend less than half of the year studying. They spend just twenty-five percent of their time attending classes and twenty percent studying alone. They devote more than half of their time to non-academic activities. They spend twenty percent of their time playing sports, and another twenty percent working part-time. They spend the remaining fifteen percent just relaxing.

Acton College Students' Use of Time



プレゼンテーションでは次のような表現を使います。

説明する

I'd like to explain (…を説明いたします)

Let me explain why (どうして…なのか説明します)

Let me tell you (…をお話しします)

In my opinion, (私の考えでは…)

相手に問かける

I think we all agree that (…ということはみなさん賛成だと思います)

Some of you might know that (…ということをご存じの方もいるでしょう)

Let me ask you to think about (…について考えてほしいのです)

Here's something to think about. (考えていただきたいことがあります)

What would you do if ...? (もし…なら、どうしますか)

活用できる表現

- スピーチをしてみよう！
- ディベートをしてみよう！
- パラグラフを書いてみよう！
- プレゼンテーションをしてみよう！
- 論理的に考えてみよう！
- ディスカッションをしてみよう！

活用できる表現

グラフに言及する

Please have [take] a look at this graph [chart]. (このグラフをご覧ください)

This chart shows (このグラフは...ということを表しています)

This indicates that (これは...ということを示しています)

From this, we can see that (このことから、...ということがわかります)

According to this, (これによると...)

- ・ a pie chart / a circle graph : 円グラフ
- ・ a bar chart [graph] : 棒グラフ
- ・ a line chart [graph] : 折れ線グラフ
- ・ a table : 表

プレゼンテーションをするときは、聞いている人へのアイコンタクトを忘れないようにしましょう。言いたいことが聞き手に伝わるように、話し方にも工夫が必要です。原稿を「読む」のではなく、自信と説得力が感じられるように、ときには身振り手振りを交えながら、プレゼンテーションをしましょう。

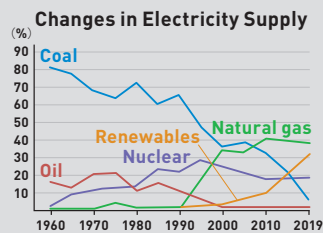
- ・ 高校生の「生活時間」についての統計を調べ、グラフを使って発表してみましょう。

TRY! 電力供給についてのプレゼンテーションをしよう

電力供給がどのようなエネルギー源から行われているかを調べ、発表しましょう。過去の電力供給の推移や、現在の電力供給の割合を調べたりします。

EXAMPLE

This graph shows the changes in electricity supply in the UK from 1960 to 2019. In 1960, around 80 percent of Britain's electricity came from coal, but the use of this fuel decreased after that. From the early 1990s, the use of natural gas increased dramatically. The use of nuclear power reached approximately 30 percent in 1995 and then decreased steadily. In 2002, Britain started a new system. All electric supply companies now had to supply a certain percentage of their electricity from renewable energy sources. At first, it was only three percent, but by 2019, more than 30 percent of Britain's electricity came from such sources.



出典 : Department for Business, Energy & Industrial Strategy, UK. Historical electricity data: 1920-2019 (2020)を元に作成

- ・ 上のプレゼンテーションを実際にやってみましょう。

TASK

- ・ 自然エネルギーについて調べ、資料を使いながら発表してみましょう。
- ・ 生活環境について調べ、資料を使いながら発表してみましょう。

学んだ手順をもとに別のテーマで応用練習

Communication TIPS

英語でコミュニケーションするうえで
知っておきたい情報を紹介。異文化間のやりとり
という観点からわかりやすく解説しています。

- ① 言外の意味
- ② ノンバーバル・コミュニケーション
- ③ 相手に応じたことばづかい
- ④ 話の展開のしかた

Communication TIPS ③

相手に応じたことばづかい

私たちは大人になるにつれて、いつ、どんな
場面で、だれに対して、何について話すのかによ
って、ことばの使い方を合わせることを学ん
でいきます。これは、母語であれば、日常生活
の中で自然と身につけていくスキルですが、英
語でコミュニケーションをとる際も、状況や相
手のことを考えて話したり書いたりすることは
とても大切です。英語を外国語として勉強して
いると、どうしても「発音や文法の正しさ」ば
かりに注意が行ってしまいがちですが、本当は
「状況や相手に応じた適切さ」こそ、コミュニ
ケーションを成功させるひけつなのです。

たとえば、「お礼を言う」という状況を考えて
みましょう。もちろん“Thank you.”というの
は、ほとんどどんな場面でも、どんな相手に対
しても使える表現ですが、もう少し細かく見ると、
フォーマルにかしこまって感謝の意を伝える
場合から、親しい人にインフォーマルに軽く
お礼を言う場合まで、いろいろなお礼の言い方
があることがわかります。



“I really appreciate your help.” **フォーマル**

“Thank you for your help.”

“Thank you.”

“Thanks.”



インフォーマル

また、人に何かを頼む場合は、相手に十分配
慮した適切な表現を心がけるが必要になり
ます。相手との親しさ、上下関係、依頼する内
容の重大さなどに応じて、表現のていねいさの
度合いが異なるからです。



ていねいさの
度合い

“Would you mind lending me your bicycle?” **大**

“Could you lend me your bicycle?”

“Can you lend me your bicycle?”

“Lend me your bicycle, please.” **小**



ていねいになればなるほど、表現は長くなる
という特徴があります。また、相手が依頼を断
ることもできるように疑問文でたずねるとい
うのが一般的です。上記の例（自転車を貸して
ほしいという依頼）の場合、相手が目上の人か、
親友か、あまり知らない人なのか、また、相手
の自転車がどのくらい新しいか、高価なものな
のかなどによって、ていねいさの度合いは変わ
ります。相手に依頼をする際は、どの程度のて
いねいさが必要かということに注意しましょう。

Iで学んだ文法の理解をさらに深め、
より積極的・自発的に自己発信する力を養成する。

文部科学省検定済教科書 高等学校外国語科用 231 いいずな 論II 717

be

English Logic and Expression II

Smart



IIZUNA SHOTEN

Contents

Introduction 「論理的に考える」ためのウォームアップ

1. 出来事を伝える	p.7
2. 説明する	p.8
3. 話の流れを読みとる	p.10
4. 理由を述べる	p.11
5. 具体例を示す	p.13
6. 分析する	p.14

Iと同様に文法を軸とした
レッスン構成

1st Zone Daily Life *Point* 主語と動詞の使い方を学ぶ

LESSON 1 Future Plans 将来の夢について話す pp.17-20

Start-Up

Forms

動詞の形で時や状況を表す

Expressions いつのことなのか
をわかりやすく示す

Speaking

伝えたい情報は強く発音する

Tips for Logical Thinking

Interactions Talking about your interests and future plans

- A** 現在興味があることを伝える
- B** 過去のことを表す
- C** 最近のこと・今までのことを表す
- D** 将来の夢について伝える

Vocabulary

Active Learning

My Future Plan

SHARE

Design your future.

WRITE

Shape your future.

現在形

過去形

完了形

未来を表す表現

LESSON 2 Free Time at Home 家で過ごす時間について話す pp.21-24

Start-Up

Forms

名詞として句や節を使う

Expressions 気持ちの変化を描写する

Speaking 強く発音する語と弱く
発音する語を意識する

Tips for Logical Thinking

Interactions Talking about your free time at home

- A** すること・したいことを表す
- B** 好きなこと・楽しみにしていることを伝える
- C** これからすることを表す
- D** 情報を伝える

Vocabulary

Active Learning

How to Spend Time at Home

SHARE

Talk about your free time at home.

WRITE

Recommend the best things to do at home.

不定詞(名詞用法)

動名詞

不定詞を使う表現

名詞節

LESSON 3 Student Life 学校生活について話す pp.25-28

Start-Up

Forms

助動詞で動詞に意味を加える

Expressions 順番にわかりやすく説明する

Speaking /eɪ/と/ou/の二重母
音に注意する

Tips for Logical Thinking

Interactions Talking about your school life

- A** できること・そうかもしれないことを表す
- B** 義務やそうなる可能性の高いことを表す
- C** 現時点での推定や推測を表す
- D** 過去のことに対する思いを伝える

Vocabulary

Active Learning

My School Days

SHARE

Talk about confidence.

WRITE

Learn a lesson from regret.

canとmay

mustとshould

willとwould

助動詞+have+過去分詞

Tips for English Expression 1 気持ちを伝えよう! p.29

スクリプト・ライティングをしてみよう! p.30

2nd Zone The Workings of Society

Point 形容詞や関係詞で情報を加える

LESSON 4 What You've Learned through Experience 体験から学んだことを話す

pp.33-36

Start-Up

Forms 形容詞で人やものに情報を加える

Expressions 具体的にわかりやすく説明する

Speaking カタカナ語の発音に注意する

Tips for Logical Thinking

Interactions Talking about what you've learned through experience

A 人やものに情報を加える

形容詞の限定用法

B 人やものの状態や性質を述べる

形容詞の叙述用法

C 人やものに「している」「された」という情報を加える

分詞の限定用法と叙述用法

D 経験したときの気持ちを表す

感情を表す分詞形容詞

Vocabulary

Active Learning Learning through Experience

SHARE

Talk about a trip.

WRITE

Describe a memorable event.

LESSON 5 Modern Conveniences 現代社会の利便性について考える

pp.37-40

Start-Up

Forms 形容詞のはたらきをする句をつくる

Expressions 数値を示して説得力をもたせる

Speaking 動詞と名詞で異なるアクセントに注意する

Tips for Logical Thinking

Interactions Talking about and using modern technology

A 人やものについて詳しく伝える

名詞+形容詞句・前置詞句

B ものの機能や人の特徴を説明する

名詞+分詞句(分詞の限定用法)

C 何かの特徴や使い方を説明する

名詞+不定詞句(不定詞の形容詞用法)

D 未来の社会について述べる

形容詞を使う構文

Vocabulary

Active Learning

A Life of Convenience

SHARE

Talk about a smart device.

WRITE

Introduce a device.

LESSON 6 The Information Society 情報社会について考える

pp.41-44

Start-Up

Forms 関係詞を使って名詞に説明を加える

Expressions 身近な例を示して関心を引く

Speaking 関係詞は弱く発音する

Tips for Logical Thinking

Interactions Talking about the latest news

A どういう人・ものか説明を加える1

関係代名詞(限定用法:主格)

B どういう人・ものか説明を加える2

関係代名詞(限定用法:目的格)

C 説明やコメントを追加する

関係代名詞(非限定用法)

D 時・場所・理由について説明を加える

関係副詞

Vocabulary

Active Learning

Thinking about the News

SHARE

Talk about the problem of fake news.

WRITE

Introduce an impressive news report you've heard.

Tips for English Expression 2 考えを伝えよう! p.45

スピーチをしてみよう! p.46

3rd Zone The Nature of the Human Mind

Point 副詞でさまざまな情報を加える

LESSON 7 Language and Thought ことばと思考について考える

pp.51-54

Start-Up

Forms 副詞を使ってさまざまな情報を加える

Expressions 客観的な視点で分析する

Speaking /ou/ と /ɔ:/ の発音に注意する

Tips for Logical Thinking

Interactions Talking about languages

A どこで・いつ・どのようにするかを表す

場所・時・様態を表す副詞

B どのくらいの状況なのかを表す

程度・頻度・確実性を表す副詞

C 否定の範囲や程度を示す

否定の意味を表す副詞

D 話の流れをわかりやすくする

文を修飾する・文の意味をつなぐ副詞

Vocabulary

Active Learning

Thinking about Language

SHARE

Talk about learning English.

WRITE

Think about the official language of the world.

Tips for English Expression 3 論理的に文をつなごう! p.55

EXTENSION 「幸福」の測り方 p.56

LESSON 8 Emotions and the Workings of the Mind 感情と心のはたらきについて考える pp.57-60

Start-Up
Forms 副詞のはたらきをする句をつくる
Expressions さまざまな要因を検討する
Speaking つづりが似ている単語の発音を区別する
Tips for Logical Thinking

Interactions Talking about your feelings
A 「なぜするのか」「なぜそう思うのか」を説明する **不定詞(副詞用法)**
B 何かをすることの程度を表す **不定詞を使う表現**
C いつ・なぜ・どんなといった状況を補足的に説明する **分詞を使う表現**
D なぜ・どんなといった情報を補足的に説明する **副詞のはたらきをする前置詞句**

Vocabulary

Active **L**earning
 Happiness in Life
SHARE
 Talk about happiness.
WRITE
 Describe the happiness of people around you.

LESSON 9 What Exactly Does Leadership Mean? リーダーシップの意味を考える pp.61-64

Start-Up
Forms 副詞のはたらきをする節で文に情報を加える
Expressions 理由を始めに端的に伝える
Speaking つづりと発音の違いに注意する
Tips for Logical Thinking

Interactions Talking about leadership
A いつのことなのかを表す **時を表す副詞節**
B 理由・条件を表す **理由・条件を表す副詞節**
C 「～だけれど」「～しても」を表す **譲歩を表す副詞節**
D 「～するように」「とても～なので…」を表す **目的・程度を表す表現**

Vocabulary

Active **L**earning
 Leadership Qualities
SHARE
 Talk about leadership skills.
WRITE
 Think about leadership qualities.

EXTENSION 求められるリーダー像とは? p.65
プレゼンテーションをしてみよう! p.66

4th Zone Globalization and Identity

Point 比較の表現や仮定法を使う

LESSON 10 Introducing Japan 日本を紹介する pp.71-74

Start-Up
Forms 比較を表す文をつくる
Expressions データを示して対比を際立たせる
Speaking 語のまとまりを意識して発話する
Tips for Logical Thinking

Interactions Talking about Japan
A 何かと比べて「同じくらい～だ」を表す **原級を使う比較**
B 何かと比べて「より～だ」を表す **比較級を使う比較**
C ある集団や範囲で「最も～だ」を表す **最上級を使う比較**
D 「ますます多くの～」などを表す **比較を使う表現**

Vocabulary

Active **L**earning
 How to Introduce Japan
SHARE Compare two tourist destinations.
WRITE
 Recommend a Japanese cultural experience.

LESSON 11 Making Innovation Happen イノベーションについて考える pp.75-78

Start-Up
Forms 仮定法を使って想像の話をする
Expressions プレゼンテーションを効果的に展開する
Speaking useの発音に注意する
Tips for Logical Thinking

Interactions Talking about innovation
A 現実とは違う想像の話伝える **仮定法過去**
B 過去の事実とは違う想像の話伝える **仮定法過去完了**
C 現在のことや過去のことへの願望を伝える **wish / if only**
D 「～してもよいころだ」などを表す **仮定法を使う表現**

Vocabulary

Active **L**earning
 Innovation for the Future
SHARE
 Talk about your ideal society.
WRITE
 Think about an innovation to help the world.

EXTENSION Society 5.0とは? p.79
EXTENSION 差別と闘う人々のことば p.80

LESSON 12 Embracing Diversity in Society 多様性を受け入れる社会を考える pp.81-84

Start-Up
Forms 要求や提案内容、考えや信条を述べる
Expressions 引用で提案に説得力を与える
Speaking アクセントのルールを確認する
Tips for Logical Thinking

Interactions Talking about an inclusive society
A 問題解決のための意見を述べる **要求や必要を表す表現**
B 課題についての見解を示す **認識の表現・時制の一致**
C ほかの人の意見を伝える **語法**
D 「～になってはじめて」などを表す **時を表す表現**

Vocabulary

Active **L**earning
 Diversity in Society
SHARE
 Talk about a free and fair society.
WRITE
 Think about inequality in our society.

EXTENSION inclusive societyとは? p.85
 ディベートをしてみよう! p.86

5th Zone Towards a Sustainable Society

Point 英語らしい表現を使う

LESSON 13 Tourism and Japanese Society 観光と日本社会を考える pp.93-96

<p>Start-Up</p> <p>Forms 存在や変化を表す</p> <p>Expressions 順を追ってプロセスを説明する</p> <p>Speaking 単語間の音のつながりに注意する</p> <p>Tips for Logical Thinking</p>	<p>Interactions Talking about tourism in Japan</p> <p>A 存在を表す 「ある」「いる」の表現</p> <p>B 変化を表す 「なる」の表現</p> <p>C 費用や時間を表す 「かかる」の表現</p> <p>D 変化していく様子を表す 「するようになる」の表現</p> <p>Vocabulary</p>	<p>Active Learning</p> <p>Information for Tourists</p> <p>SHARE</p> <p>Make a useful notice for tourists.</p> <p>WRITE</p> <p>Give tourists useful travel tips.</p>
---	---	--

LESSON 14 Food and Health 食と健康について考える pp.97-100

<p>Start-Up</p> <p>Forms 使役動詞や知覚動詞を使う</p> <p>Expressions 論理展開を示す表現を使う</p> <p>Speaking allowの発音に注意する</p> <p>Tips for Logical Thinking</p>	<p>Interactions Talking about food and health</p> <p>A 「何かをさせる・してもらう」を表す 使役動詞</p> <p>B だれかへの依頼・許可を伝える 不定詞を使う「させる」の表現</p> <p>C 「何かをしてもらう」などを表す 分詞を使う「させる・される」の表現</p> <p>D 見たり聞いたりしたことを表す 知覚動詞</p> <p>Vocabulary</p>	<p>Active Learning</p> <p>Food for Health</p> <p>SHARE</p> <p>Discuss a healthy diet.</p> <p>WRITE</p> <p>Introduce how to eat healthier.</p>
---	--	--

LESSON 15 SDGs and Issues Facing the World 世界が抱える問題とSDGsを考える pp.101-104

<p>Start-Up</p> <p>Forms 英語らしい表現方法を使う</p> <p>Expressions 問題点を明確にして解決策を示す</p> <p>Speaking SDGsを読む</p> <p>Tips for Logical Thinking</p>	<p>Interactions Talking about the issues facing the world</p> <p>A 図表を分析して伝える 主語の表し方</p> <p>B 課題を分析して予測を伝える 「~すると...になる」の表現</p> <p>C 現在の課題と未来の展望を表す 「~が...させる[させない]」の表現</p> <p>D 持続可能な社会に必要なことを伝える 日本語と違う表し方(受動態を使う表現)</p> <p>Vocabulary</p>	<p>Active Learning</p> <p>Issues Facing the World</p> <p>SHARE</p> <p>Discuss how to solve a global problem.</p> <p>WRITE</p> <p>Think about how to make a better future.</p>
--	--	--

Tips for English Expression ④ 英語らしさと日本語らしさ p.105
 ディスカッションをしてみよう! p.106
 パラグラフを書いてみよう!
 英語のパラグラフの基本 p.110
 1. 「意見」のパラグラフ p.112
 2. 「描写・説明」のパラグラフ p.114
 3. 「比較・対照」のパラグラフ p.116
 4. 「因果関係」のパラグラフ p.118
 5. 「問題解決」のパラグラフ p.120
Supplementary Writing Exercises p.122
Punctuation in English p.126
Lexical Index (語い別さくいん) p.128

QRコードについて

本教科書では紙面上のQRコードを読み取ることで、モデル英文や例文などの音声聞くことができます。音声を再生する際にはデータ通信を行うため、通信事業者に対する通信料が発生します。長時間ご視聴の場合は、Wi-Fi環境でのご利用を推奨します。



1st Zone

Daily Life

自分の将来のことや、学校・家庭での出来事を伝えてみよう。主語と動詞の使い方に注意しながら、文をつくってみよう。

LESSON 1 Future Plans

LESSON 2 Free Time at Home

LESSON 3 Student Life

高校生のなりたい職業 TOP10

1位	教師	11.4%
2位	公務員(国家・地方、警察・消防・自衛官)	10.0%
3位	看護師	9.1%
4位	建築士・建築関連	6.1%
5位	医師・歯科医師・獣医師	5.9%
6位	技術者・研究者	4.3%
7位	保育士・幼稚園教諭・幼児保育関連	4.2%
8位	薬剤師	3.0%
9位	製造業(自動車・造船など)	2.9%
10位	放射線技師・臨床検査技師	2.7%
10位	理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・リハビリ	2.7%
10位	エンジニア・プログラマー・IT関連	2.7%

各Zoneの扉には、それぞれのテーマについて発信するために使える情報を掲載

リクルート進学総研「第9回 高校生と保護者の進路に関する意識調査2019」

看護師・医師・薬剤師などの医療分野、建築士・技術者・製造業などのものづくり系が人気。公務員など、雇用の安定を重視する傾向も見られる。自分の将来の夢を考えながら、LESSON 1のStart-Upを読んでみよう。

Future Plans



将来の夢について話す

Start-Up A student is talking about his future plans.

In 10 years, I am going to be a computer engineer. It has been my dream since I was an elementary school student. Actually, I got my first computer when I was 11 years old. I wanted to learn more about computers, so I took programming classes after school for two years. I have been interested in programming since then. These days, I use my computer to edit short videos, and I often share them with my friends. Last year, I built my own computer for the first time. I will try to gain more knowledge about computers and become a successful engineer in the future.



Try!

Answer the questions.

- Ⓐ 1. When did the speaker get his first computer?
 2. What did he do last year?
 Ⓑ What do you usually use your computer for?

Forms 動詞の形で時や状況を表す

英語の動詞は、現在のことなら**現在形**、過去のことなら**過去形**を使う。現在形と過去形にはそれぞれ**進行形**があって、その時点で進行していることや変化していることを表すときに使う。未来のことは、**be going to**や**will**を使って表す。ある時点までに完了していることや経験していること、継続していることを表すときは、〈have/has + 過去分詞〉の**完了形**を使う。

Expressions いつのことなのかをわかりやすく示す

最初の文で、I am going to be a computer engineer.のように自分の思いをはっきり述べることで、聞く人の注意を引きつけることができる。そして、Actually, I got my first computerで、そのきっかけになったことを述べ、I will try to gain more knowledgeと、目標を達成するためにできることに続けている。いつのことなのかがわかるように、since ... / when ... / these days / last year / in the futureのような表現を効果的に使っていることにも注目。聞く人の気持ちになって、わかりやすい話の流れをつくることを心がけてみよう。

Speaking 伝えたい情報は強く発音する

英語を話すときは、相手に伝えたい情報を強く発音するのが基本。I am going to be a computer engineer.では、a computer engineerに強勢が置かれる。なお、engineerのような ee を含む単語は、その部分に第1アクセントがくるものが多いので気をつけて発音しよう。

Tips for Logical Thinking

自分のことを話すときは、今までのこと、今のこと、これからのことを時系列にそって展開すると伝わりやすくなる。また、actuallyのような、新しい情報を提供したり話題を転換したりするときの表現も使ってみよう。

Pick-Up

in 10 yearsは「10年後に」という意味で、このinは、今からどのくらいあとなのかを示すときに使う。「～以内に」と言うときは、within five minutes (5分以内に)のようにwithinを使う。

I Interactions Talking about your interests and future plans

A 現在興味があることを伝える

現在形

- ① I **go** jogging in a nearby park *every morning* to stay healthy.
- ② I'm **looking** for a book about current American politics.

F-GUIDE

現在の状態や習慣的にしていることは動詞の**現在形**, 現在している最中のことは**現在進行形** (am/are/is + 動詞のing形) で表す。

CHECK Write about what you are interested in now using the words and phrases below.

[I'm (very) interested in / I have an [a great / a keen] interest in / I'm into]

TASK In pairs, talk about what you are interested in.

ex. A: Mayumi, what are you most interested in?

B: I'm interested in world politics. I often watch world news on the internet.

A: Really? As for me, I'm interested in learning how to cook. Now, I'm looking for a good cookbook for beginners.

B: That's nice. I also like cooking. I can lend you some of my recipe books.

あいつちで関心を示そう

- Really? • That's nice [good/great].
- I see. • I think so, too. • No way!
- I can't believe it! • That's too bad.
- Is that true? • You're kidding!
- Are you serious? • Yes, indeed.

B 過去のことを表す

過去形

- ③ I **learned** about the life of President Kennedy in history class *last week*.

F-GUIDE

過去の状態や出来事, 過去にしたことを表すときは動詞の**過去形**を使う (している最中だったことは**過去進行形**で表す)。**used to** を使って昔のことを表すこともある。

CHECK Take notes while listening to the passage about a famous American president and then summarize what you heard. 🎧

[**HINTS:** historic / president / elect / African-American]

TASK Write about President Obama's achievements.

ex. President Obama won the Nobel Peace Prize in 2009 for his efforts to make the world free from nuclear weapons. In 2016, President Obama visited Hiroshima Peace Memorial Park. There, he made a 17-minute-long speech about world peace.

Vocabulary

- economics
- literature
- law
- psychology
- engineering
- agriculture
- architecture
- medical science
- information science
- a diplomat
- an investor
- an actor
- a film director
- a cartoonist
- an artist
- pursue one's dream



C 最近のこと・今までのことを表す

完了形

- ④ I **have** *already* **decided** what I want to do in the future.
 ⑤ I **have** *never* **thought** about living in a foreign country.
 ⑥ I **'ve had** a keen interest in social studies *since I was an elementary school student*.

F-GUIDE

現在完了形〈have/has + 過去分詞〉は、今までに完了したことやその結果、今までの経験、今まで継続している状態を表す。継続している動作は現在完了進行形〈have/has been + 動詞のing形〉で表す。

TASK Tell the class what you have done recently, showing a picture or an image.

ex. I've recently been to Kamakura to take photos. Look at this one. This is a photo of a temple which I visited there. I have already taken a lot of beautiful photos in Japan, but I want to take photos in another country. I have never been abroad. So, I'm planning to go to France, and I will take lots of photos there.



II

D 将来の夢について伝える

未来を表す表現

- ⑦ I'm sure it **will be** challenging to study abroad.
 ⑧ I **'m going to study** international relations in college.

F-GUIDE

「きっとそうする」とその時点で思ったことや「きっとそうなる」と思っていることを表すときは、助動詞の **will** を使う。前からするつもりでいた場合は、**be going to** を使う。

TASK Interview your partner asking the questions below.

- What are you going to do in the future?
- What will you do to achieve your goal?

ex. A: What are you going to do in the future?

B: Well, I'm going to live abroad if I can. I want to work as a cook in Europe.

A: Sounds exciting. How will you achieve your goal?

B: I will go to cooking school and learn how to cook.

TASK には豊富な解答例を提示して、発信活動をサポート

- ask for someone's advice
- follow[take] someone's advice
- improve one's skills
- broaden one's knowledge

Self-Check (できることに✓を入れよう)

- A 現在興味があることを、動詞を適切な形で使って表すことができる。
 B 過去の出来事を、動詞を適切な形で使って表すことができる。
 C 最近のことを、動詞を適切な形で使って表すことができる。
 D 自分の将来の夢について、動詞を適切な形で使って表すことができる。

Active Learning

My Future Plan



SHARE Design your future.

① Read this passage about a future plan.

I want to be an actor in the future. I have been in the drama club since junior high school. Recently, I got a role in the next school play. I really enjoy acting. I'm going to work hard so that I can act in a movie someday.

② Following the example above, make an outline of what you want to be in the future.

③ Using your outline, tell your group about yourself. Have one person in the group ask a question.

Peer Review

Review another member's performance.

将来の計画について伝えることができた。③ ② ①

自分の将来を決めたきっかけを伝えることができた。③ ② ①

聞き手とアイコンタクトをとって話すことができた。③ ② ①

③ よくできた ② まあまあできた ① あまりできなかった

WRITE Shape your future.

Write an essay about what you will be doing in 10 years in 80-100 words.

! 文章の組み立てのヒント

Step 1: 10年後の自分について述べる。

ex. In 10 years, I'll be working as a doctor.

Step 2: なぜそう思うようになったのか具体的な理由を挙げ、自分の夢や目標を述べる。

ex. My grandfather is a doctor, and I have watched him work since I was a little child. He works hard to help people every day. Actually, my dream is to work as a doctor in a developing country.

Step 3: 現在の状況を述べ、夢をかなえるためにすべきことを述べる。

ex. To be a doctor, I have to study very hard. Although math and science are my best subjects, I'm not so good at English. That's why I'm going to study English much harder in order to achieve my goal.

3ステップで文章構成の基本を学べるよう設定

Peer Review

Read and review your partner's essay.

10年後の自分と、その実現に必要なことを述べることができた。③ ② ①

Edit your partner's essay.

単語 つづりの間違いがある場合 ⇒ ○で囲む

文法 動詞の使い方に誤りがある場合 ⇒ □で囲む

論理 文と文のつながりが悪いところがある場合 ⇒ 下線を引く

クラスメイトとお互いの英文をチェックする際のポイントを提示

INTERVIEW

Q1: Do you think that young people today should be more ambitious? Why or why not?

Q2: Do you think we should pursue our dreams until we achieve them? Why or why not?

Emotions and the Workings of the Mind

感情と心のはたらきについて考える



Start-Up This is a speech about "What is happiness?"

What is happiness? This question is quite difficult to answer because happiness varies according to the individual. However, a report by the United Nations could give us a clue to how to answer this question. The World Happiness Report shows that people in Scandinavian countries, known for their generous social welfare systems, live the happiest lives. Even though they have a high tax burden, people can still live comfortably. Because of this, these countries focus on social benefits for their citizens, who are willing to pay higher taxes. Of course, happiness cannot be judged by only one factor. It is necessary to think about the various components of happiness and share these ideas to increase our happiness in the future.



Try!

Answer the questions.

- Ⓐ 1. What does the report show?
2. According to this speech, what are Scandinavian countries known for?
Ⓑ What do you think is the most important key to a happy life?

Forms 副詞のはたらきをする句をつくる

不定詞を使うと、Start-Upの最後のto increase our happiness in the futureのように、目的を表す副詞のはたらきをする意味のまとまり(副詞句)をつくることができる。不定詞は、difficult to answerのように判断を表したり、原因や根拠を表すこともできる。前置詞句も副詞として使うことができ、Because of thisのように理由を表したり、in the futureのように時を表したりする。

Expressions さまざまな要因を検討する

What is happiness?という抽象的なテーマに対し、the World Happiness Reportという資料をもとに説明を展開している。ランキング上位の国の人々が幸せな生活を送っている理由をtheir generous social welfare systemsと結びつけているが、最後のIt is necessary to think about the various components of happinessにあるように、理由を決めつけずにさまざまな要因を検討する姿勢が大切。

Speaking つづりが似ている単語の発音を区別する

quite difficultのquiteは/kwáit/という発音。quiet/kwáíət/, quit/kwít/のようなつづりが似ている単語の発音と混同しないようにしよう。

Tips for Logical Thinking

of courseは「もちろん」という意味で、自明なことを示すときに使う。Start-Upでは「もちろん、幸福はひとつだけの要因で判断できるものではない」→「幸福のさまざまな要素を検討する必要がある」とつながっている。

Pick-Up

give us a clueのclueは「手がかり」という意味。Give me a clue.「ヒントをください」、I have no clue.「手がかりがない」→「まったくわからない」などの表現でよく使う。

I Interactions Talking about your feelings

A 「なぜするのか」「なぜそう思うのか」を説明する

不定詞(副詞用法)

- ① What should we do **to lead** a happier and more meaningful life?
- ② I'm very lucky **to have** a friend like you.

F-GUIDE

不定詞を使って、何かをする目的や感情の原因を表すことができる。You have to take the test in order to study abroad.のように、不定詞にin orderをつけると、目的の意味をよりはっきりさせることができる。

TASK Talk with your partner about when you feel happy.

- ex. **A:** I went to Ueno Zoo to see the pandas last weekend.
B: Is that right? Were you able to see them?
A: Yeah! I was lucky to be able to see them climbing and playing. They made me feel happy.

B 何かをすることの程度を表す

不定詞を使う表現

- ③ What he said is *hard* **to believe**.
- ④ The situation is **too complicated** **to explain**.

F-GUIDE

〈難易を表す形容詞+不定詞〉で、何かをすることに関する評価を表すことができる。〈**too + 形容詞/副詞 + 不定詞**〉は「～するには…すぎる」、〈**形容詞/副詞 + enough + 不定詞**〉は「～するのに十分…」を表す。

CHECK Make your own sentences by filling in the blanks.

1. I think chopsticks are _____.
2. I was too busy to _____.
3. He was kind enough to _____.

TASK Give Student A some advice on how to live happily.

Student A: I worry about my future. I feel uncertain and don't know what to do.

ex. Life is difficult to predict. No one knows for sure what will happen in the future. We are often too busy to think about our future. But no matter what you decide to do, never give up. Everything will probably turn out okay. Good luck!

相手を励ましてみよう

- Good luck! • You can do it!
- Think positive! • You'll be fine.
- Go for it! • Keep going!
- Hang in there. • Stick to it!
- I'm always on your side.

Vocabulary

- | | | | |
|-------------------------|------------------------|------------------------|---------------------------|
| • enjoy oneself | • spend time with | • reduce stress | • fulfill one's potential |
| • motivate oneself | • get allowance | • feel relaxed | • do good for |
| • have fun | • improve one's grades | • have peace of mind | • raise one's spirits |
| • get satisfaction from | • be under stress | • be free from anxiety | • reward someone for |



C いつ・なぜ・どんなといった状況を補足的に説明する

分詞を使う表現

- ⑤ He was looking at his grandchildren, **feeling** happy and satisfied.
- ⑥ **Being** stressed out, I went to karaoke with my friends.

F-GUIDE

分詞は文に情報を加える副詞のはたらきをすることができ(分詞構文), 付帯状況(同時・連続・結果)や時・理由を表す。主節が表す時よりも前のことを表す場合は, <having + 過去分詞>という完了形を使う。

CHECK Complete each sentence as in the example below.

ex. When I was walking down the street, I saw several birds.

Walking down the street, I saw several birds.

- 1. I was in Boston for three years. I worked in a bookstore.
I was in Boston for three years _____
- 2. Because I felt very happy, I couldn't stop smiling.
_____, I couldn't stop smiling.

難しい文法項目は,
CHECK で基本を復習してから
TASK に取り組むことで,
確実に定着

TASK Write about a recent happy experience.

- ex. 1. Traveling in Hokkaido, I enjoyed the beautiful scenery. I have never seen such magnificent forests in my life. I recommend that you visit Hokkaido in the near future.
- 2. Having practiced hard, I won the speech contest. I realized that hard work is always rewarded. I will continue to practice harder.

D なぜ・どんなといった情報を補足的に説明する

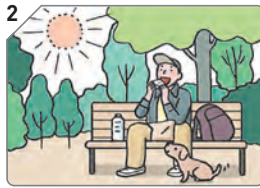
副詞のはたらきをする前置詞句

- ⑦ The song is popular around the world **because of** its beautiful melody.
- ⑧ I was so nervous **with** everybody *watching* me.

F-GUIDE

because of ... は理由を表し, <**with** + 名詞 + 分詞/形容詞/副詞>はその時点での状況を表す。また, 前置詞句は, sleep on the sofa や run in the morning のように, 場所や時を表す副詞のはたらきもする。

TASK Look at the pictures and write your own story about them.



- ex. 1. The woman is enjoying her weekend. She is listening to music with her eyes closed. She is getting sleepy because of the relaxing music.

- make friends with
- form a close friendship with
- encounter a childhood friend
- be pleased with oneself

Self-Check (できることに✓を入れよう)

- A なぜするのか, なぜそう思うのかを説明することができる。
- B 何かをすることの難易度などを示して, アドバイスすることができる。
- C 幸せな体験について, 分詞で状況や理由などを説明することができる。
- D 人物の置かれている状況を, 前置詞句を使って説明することができる。

Active Learning

Happiness in Life



SHARE Talk about happiness.

① Choose the most important factor for your happiness.

[HINTS: friends / family / sports / music / video games / travel / art / social media / fashion / food and beverages]

② Give a 30-second speech to your group about when you feel happy.

ex. (friends) I'm very happy to be around friends. I have friends in my class, friends in my club, and friends in my hometown going to different schools. In my view, high school students feel a lot of pressure. Sometimes, it is difficult to cope with the pressure, and we become unhappy. Talking to friends changes everything! Therefore, in order to be happy, I just need to hang out with my friends.

③ In groups, exchange ideas about important factors of happiness.

Peer Review

幸せのために何が必要かを伝えることができた。③ ② ①
なぜそれが必要か理由を伝えることができた。③ ② ①

WRITE Describe the happiness of people around you.

Think about one thing that you did to make other people happy. Write an essay in 100-120 words to describe it.

! 文章の組み立てのヒント

Step 1: 周りの人を幸せにするために何をしたか説明する。

ex. Once I did volunteer work at a nursing home for one week, and older people in the home looked happy to have me there.

Step 2: 幸せにした経験を、具体例とともに説明する。

ex. Working there, I found out that if I smiled a lot, it was easy to make friends with older people quickly. Soon, we became close enough to exchange our personal stories. On the last day of my volunteer work, one older woman told me that she had become more active because of my smile, and I was very glad to hear that.

Step 3: まとめの1文で締めくくる。

ex. I was happy to participate in the volunteer work to bring joy to older people.

各レッスンのテーマに関連した外部試験の面接を意識した質問も用意

Peer Review

周りの幸せのためにしたことを述べるのができた。③ ② ①
幸せにした経験を具体的に説明するのができた。③ ② ①

単語 つづりの間違いがある場合 ⇒ ○で囲む

文法 不定詞・分詞・前置詞句の使い方に誤りがある場合 ⇒ □で囲む

論理 文と文のつながりが悪いところがある場合 ⇒ 下線を引く

INTERVIEW

Q1: What makes you truly happy? Why?

Q2: When you are feeling unhappy, what do you usually do?

EXTENSION

各レッスンのテーマに関連した発展資料。
InteractionsのTASKで、より実践的な
活動ができるようにサポートします。

- 「幸福」の測り方
- 求められるリーダー像とは？
- Society 5.0とは？
- 差別と闘う人々のことば
- inclusive societyとは？

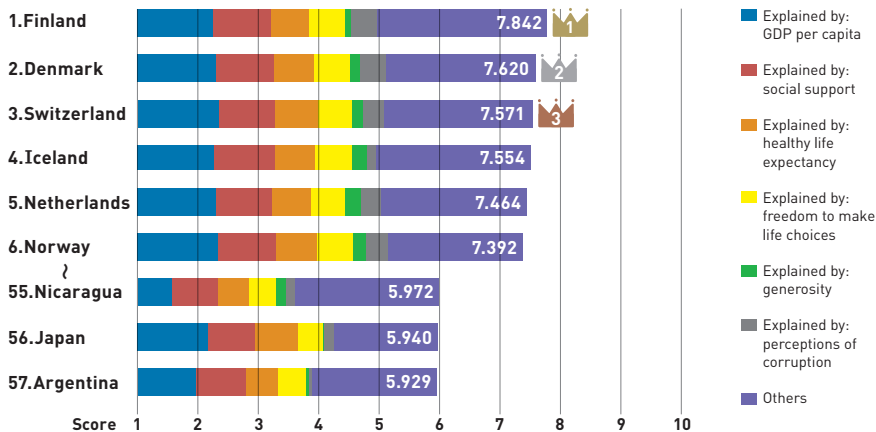
EXTENSION

「幸福」の測り方

57ページ参照資料

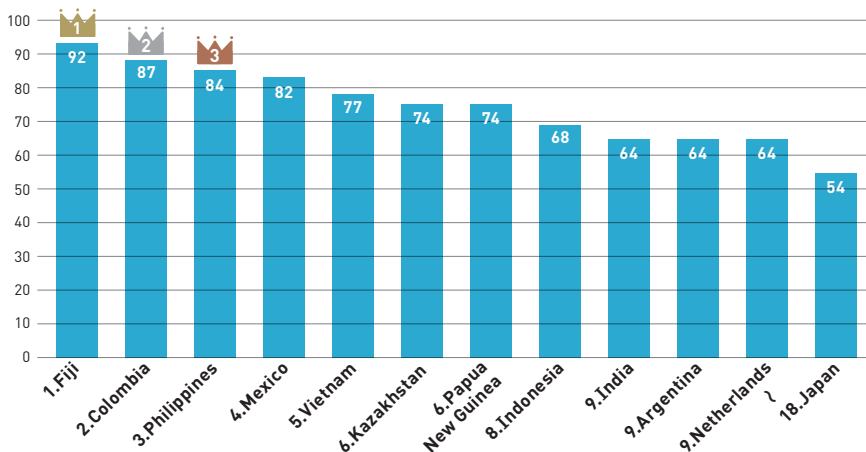
「幸福」とは何でしょう。以下の図表のように、人々の幸福を測ろうとさまざまな試みがなされています。①は149の国の国民が感じている幸福度をランク付けし、そこにどんな要素が関係するかを分析したもの。②は55の国の国民について、「とても幸せ」「幸せ」と答えた人の割合の合計から「不幸」「とても不幸」と答えた人の割合の合計を引いて、幸福度を算出したもの。測り方によって変わってくるランキングの結果から、幸福についてどのようなことが考えられるでしょうか。

① Ranking of Happiness: 2018-2020



The United Nations Sustainable Development Solutions Network. *The World Happiness Report 2021*. を基に作成

② Happiness Index: Net Score of Happy over Unhappy



Gallup International. (2017). *Happiness, Hope, Economic Optimism: Gallup International's 41st Annual Global End of Year Survey-Opinion Poll in 55 Countries Across the Globe*. を基に作成

「書く」を徹底サポート

パラグラフ構成の基本を学び、自分の考えをまとめる力を養成します。
発信力向上のため、さまざまなテーマ・論理展開で文章を作る力を身につけます。

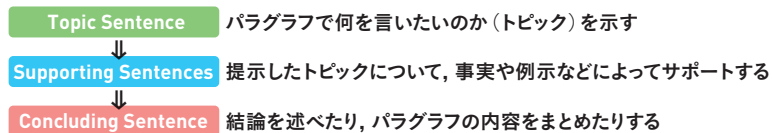
Paragraph
Writing

パラグラフを書いてみよう!

英語のパラグラフの基本

英語の「パラグラフ」は、ある「トピック(主題)」について述べる文のまとめりです。パラグラフの長さはさまざまですが、5~8文(80~100語)を目安として構成するのがよいでしょう。

英語のパラグラフの基本構成は次のようになっています。



パラグラフを書くときは、いきなり書き始めるのではなく、まず、パラグラフの構成にしたがってアウトラインをつくりましょう。トピックを何にするのか、どのようなサポートを続けるのか、どのようにまとめるのかを、あらかじめ書き出しておきます。その際、パラグラフの流れが論理的に展開されているか、読む人に伝わるような内容になっているかをチェックする必要があります。

ではまず、「若者にとってのスマートフォンのメリット」について書かれたパラグラフを読んで、パラグラフのポイントを確認しましょう。

For young people, what are the advantages and disadvantages of having a smartphone? On the plus side, it enables us to communicate with family and friends quickly and easily. We can send email and text messages, video-chat, or make ordinary phone calls. We also like having a smartphone for entertainment, with plenty of videos, music, and games available online. Of course, a smartphone allows us to access all kinds of information. We can use it to read the news, look up information for assignments and check the spellings of words. Therefore, I think it's a good idea for young people to have smartphones.

このパラグラフでは、導入の文のあとにプラス面を述べたトピックセンテンスが続きます。それをサポートする文のあとに、さらなるプラス面の提示により、そのサポートが続いています。最後は、スマートフォンを持つことにはメリットがあると結論を述べ、パラグラフを締めています。

●パラグラフを書いてみよう！

英語のパラグラフの基本 / 「意見」のパラグラフ / 「描写・説明」のパラグラフ / 「比較・対照」のパラグラフ / 「因果関係」のパラグラフ / 「問題解決」のパラグラフ

●Supplementary Writing Exercises

日本のポップカルチャー / 情報化社会 / 海外留学 / テクノロジー / コミュニケーション能力 / 時間の過ごし方など

Point 1 トピックセンテンスで論点をはっきりさせる

トピックセンテンスはパラグラフの主題を述べる文ですから、あいまいな表現は使わずわかりやすい表現を使いましょう。1つのパラグラフは1つのトピックで構成するので、論点を絞り込むことも大切です。

パラグラフの最初を、疑問文とそれに対する答えで構成して、トピックを提示する方法もあります。読む人を引き込む効果がありますが、すべてのトピックに使えるわけではありません。

Point 2 サポートセンテンスは具体的で明確なものにする

トピックをサポートする内容は、読む人を納得させることができるように、具体的で明確なものにする必要があります。具体的な名称や客観的な数値などを入れると説得力が増します。

Point 3 論理展開をはっきりさせる

パラグラフの内容は論理的でなければなりません。そのために、thereforeやhoweverのような論理展開をはっきりさせる表現を使うと効果があります。

では、マイナス面を述べた次のパラグラフを読んでみましょう。

On the minus side, a smartphone can interfere with young people's school work. It is very addictive, and we always have it nearby. If we get a text message, we feel we have to reply to it immediately. Text messages and phone calls are distracting. They prevent us from concentrating on our studies. Also, talking to our friends on the phone is a lot of fun and we tend to talk for a long time. In short, the smartphone makes us lazy and distracted, and so we should be careful how we use our smartphones.

・interfere with: ~を妨げる ・addictive: 病みつきになる ・distracting: 気を散らすような
・distracted: 気を散らされた

Point 4 全体のバランスを考える

パラグラフを続ける場合は、それぞれのパラグラフの役割を明確にする必要があります。最初にthe plus side, 次にthe minus sideのように、はっきりとした展開にします。この2つのパラグラフでは、メリットとデメリットを分けて論じています。このように、1つのパラグラフの中では論点を一貫させるようにしましょう。

英語のパラグラフには、論じる内容によって典型的な展開のしかたがあります。次のページから、5つのパターンでパラグラフを書く練習をしてみましょう。

左頁

詳しい文法の解説で教科書の理解を助ける。

例文は音声再生アプリ
「いいずなボイス」対応

右頁

文法を網羅した演習問題

教科書、
総合英語 be
の該当頁

LESSON 13 動名詞

A 動名詞：主語・補語 pp.240-241

「～すること」を主語や補語として表す。

① **Playing tennis is fun.** (テニスをすることは楽しい)
② **My pastime is walking in the park.** (私の趣味は公園を散歩することです)

③ **動名詞(動詞のing形)**は「～すること」という名詞のはたらきをして、文の「主語」にすることができ、
◆動名詞を主語にするとき、主語の位置に**形式主語it**を使うことができる。話者が感情・判断を先に伝えたいときに用いられる。
ex. It's fun **having** a party. (パーティーをするのは楽しい)
名詞のはたらきをするので、主語について述べる「補語」にもなる。趣味や仕事など、あることを行うときは不定詞ではなく「動名詞」を使う。

目的語 pp.241-243

を目的語として表す。

④ **She enjoyed walking in the park.** (彼女は公園を散歩することを楽しんだ)
⑤ **She left without saying good-bye.** (彼女がさよならも言わずに立ち去った)

⑥ 動詞の「目的語」として、名詞のはたらきをする「動名詞」を用いることができる。例文ではenjoyed walkingで「散歩することを楽しんだ」の意味になり、walkingは動詞enjoyの「目的語」になっている。動詞により動名詞のみを目的語にとるものがある。

⑦ findやthinkなどの動詞がSVOCの文で動名詞を目的語にするとき、形式的には不定詞を使う。ex. She found him **living** in the city. (彼女は彼が都会で暮らすことが大層だと思った)

⑧ 動名詞は名詞のはたらきをするので、前置詞の目的語として用いることができる。不定詞は前置詞の目的語にはならない。(例) She left **without to say** good-bye.
前置詞のあとで動名詞を使う例：(be afraid of + -ing)「～することを恐れる」、(be good/poor) at + -ing「～することが得意[苦手]である」、(be interested in + -ing)「～することに興味がある」(think of/about) + -ing「～することを検討する」、(succeed in + -ing)「～することに成功する」など。

EXERCISES 動名詞

1 下の〔 〕内から動名詞を1回ずつ選び、動名詞にして、英文を完成させなさい。 A

(1) () vegetables is necessary for good health.
(2) () these math questions was difficult for me.
(3) My uncle's job is () men's clothes.
(4) "What's your hobby?" "It's () pictures of flowers."
[design / draw / eat / answer]

2 日本語に合うように、()内の語を並べかえ、全文を書きなさい。 B

(1) 彼らは間違いを犯すことを恐れていない。
They (not / making / are / mistakes / of / afraid).

(2) ナンシーは人前で話すことが苦手だ。
Nancy (poor / speaking / in / is / front / at / of) people.

(3) その2人の兄弟は口論を避けようとした。
The two brothers (avoid / to / arguing / tried).

(4) その親切な女性は私たちを助け、名前も言わずに立ち去った。
That kind woman (us / and / saying / helped / without / left) her name.

3 与えられた状況に合うように()内の語句を並べかえ、全文を書きなさい。ただし、不要な語句が1つずつ含まれています。 B

(1) ① 二週間寝て遅れたあなたを先生はこう言われました。
(for / to sleep / a good excuse / be / going back / isn't / being) late.

(2) ② 留学生のジョンはよくラジオを聴いている。理由を聞いてみると…
John (listening / prefers / the radio / to / listen) to watching TV.

(3) ③ 将来やりたいことはあるのかと父に聞かれて…
I'm (becoming / software engineer / of / thinking / a / become).

4 [] 内の語を参考にして、～、…に自由に語句を入れ、オリジナルの英文をつくりなさい。 A B

(1) 私～することは健康を保つのに効果がある。[effective in / maintain]

(2) 私は～することに関心がある。[interest]

「GRAMMAR PLUS」「SUPPLEMENT」で、教科書で扱っていない文法項目も手厚く網羅

GRAMMAR PLUS ② 不定詞と動名詞

a 不定詞を目的語にする動詞 pp.253

① **We decided to discuss the new plan.** (私たちは新しい計画について話し合うことを決めた)

●目的語に不定詞をとる動詞⇒未来指向。これから達成するイメージ
hope (望む) / wish (望む) / decide (決める) / pretend (ふりをする) / intend (意図する) / plan (計画する) / expect (予想する) / refuse (拒む) / promise (約束する) / fail (～しない、できない) / manage (なんとか～する) / learn (～できるようになる) / offer (申し出る) / want (欲する) / afford (余裕がある) など

b 動名詞を目的語にする動詞 pp.241-242, 252-253

② **Don't put off writing a letter to Tom.** (トムに手紙の返信を書くのを遅はしてはいけない)

●目的語に動名詞をとる動詞⇒事実指向。実際にしているイメージ
mind (気にする) / miss (～し損なう) / enjoy (楽しむ) / give up (やめる) / admit (認める) / finish (終える) / escape (免れる) / put off (postpone) (延期する) / practice (練習する) / stop (止める) / deny (否定する) / discuss (話し合う) / consider (考える) / avoid (避ける) / imagine (想像する) など

c 目的語に不定詞か動名詞かで意味が異なる動詞 pp.255-256

③ **Remember to mail this letter tomorrow.** (明日この手紙を送信するのを覚えておきなさい)
④ **I remember meeting him.** (私は会ったことを覚えている)

(1) remember [動名詞⇒過去のこと (～したことを覚えている) / 不定詞⇒未来のこと (これから先～することを覚えている)]
(2) forget [動名詞⇒過去のこと (～したことを忘れる) / 不定詞⇒未来のこと (これから先～することを忘れる)]
(3) try [動名詞 (実際に「試し」～してみる) / 不定詞 (～しようとする：実際にしたかどうかは不明)]

d 動名詞を使う表現⇒toのあとが動名詞になる慣用表現をおさえる pp.248-249

⑤ **We're looking forward to hearing from you.** (あなたからの連絡をお待ちしています)

(1) What do you say to -ing? (～しませんか) (2) with a view to -ing (～するために)
(3) look forward to -ing (～することを心待ちにする) (4) when it comes to -ing (～することになると)
(5) be/get used to -ing (～することに慣れている [慣れる])

EXERCISES 不定詞と動名詞

1 [] 内の語を適切な形にして、英文を完成させなさい。 A

(1) We cannot avoid _____ mistakes. [make]
(2) If you promise not _____ angry with me, I'll tell you what I did. [get]
(3) He refused _____ the soccer club. [join]
(4) Don't forget _____ some Australian money before you leave. [get]
(5) Next summer I really hope _____ my grandfather in Germany. [visit]
(6) I grew up in a warm climate, so I'm not used to _____ in the snow. [drive]

2 与えられた状況に合うように、()内の語句を並べかえ、全文を書きなさい。 B

(1) ① 徹夜した翌日、私はテスト中に眠ってしまった。後悔した私は…
At that time (decided / I / mistake / never / the same / to make) again.

(2) ② 彼らはいろいろ質問されたが時間がかぼうた…
They (to / pretended / the answer / know / not) when they were asked a question.

(3) ③ メアリーは外国人であるが、運転免許を日本で取得したので…
Mary got her driver's license in Japan, so (is / driving / left / on / to / she / the / used).

(4) ④ 待ち合わせ時間になっても彼女が来ないので心配だ。なぜなら…
She (fails / her / keep / never / word / to).

3 日本語に合うように、[] 内の語を参考にして、英文を完成させなさい。 B

(1) 海へドライブに行きませんか。[say]
What _____ ?

(2) 一軒家を購入したあとで、新車を購入する余裕はありません。[afford]
_____ since we just bought a house.

(3) 彼は商売をするとなるとめりない。[when / come / do business]
He is very sharp _____.

4 [] 内の語を参考にして、～、…に自由に語句を入れ、オリジナルの英文をつくりなさい。 B

(1) (人)は～することを心待ちにしている。[forward]

(2) あなたは～する前、忘れずに～してくださいね。[remember / before]

Essential Grammar Book

Grammar Bookの重要項目を厳選。教科書の各レッスンを2頁構成で、必要な事項を必要な分量で無理なく習得。指導用パワーポイント・テストクリエイター対応

左頁

詳しい文法の解説で教科書の理解を助ける。

例文は音声再生アプリ「いいずなボイス」対応

右頁

項目横断型の演習問題

LESSON 21 仮定法

A 仮定法過去

- ① If I had enough time and money, I would travel around the world.
② If I were you, I would accept the invitation to the reception.

① 現在の事実とは違う仮定を表す。

仮定法過去 (If + S + 過去形..., S + would + 動詞の原形 ...) 「もし〜なら、〜するに」
仮定法過去のif節内のbe動詞は、主語が何であれwereを用いる。
主節の動詞は文意により使分けける。⇒ could 「〜できるのに」、might 「〜かもしれないのに」

B 仮定法過去完了

- ③ If I had woken up earlier, I would have arrived in time.

③ 過去の事実とは異なる仮定を表す。

ad + 過去分詞..., S + would have + 過去分詞 ... 「もし〜だったら、〜したたらうに」
主節で仮定法過去を用いる場合もある。(⇒ p.62) ②
「今はこうなのに」という意味
If your advice, I would be in trouble now.

基本例文は教科書と一致

- ① I wish you were here with me.
② I wish we had stayed there longer.
③ If only I hadn't overslept this morning!

① 現在の事実とは違うことへの願望を表す。

(I wish + 仮定法過去) 「〜ならなあ」

(I wish + S + would) 「Sが〜すればいいのに」(wish + S + could)はSが〜できないかいないのにを表す。

② I wish it would stop raining.

③ 過去の事実とは違うことへの願望を表す。

(I wish + 仮定法過去完了) 「〜だったらなあ」

(If only + 仮定法過去) 「〜でさえあれば」 [現在の事実とは違うことへの願望]

(If only + 仮定法過去完了) 「〜でさえあったら」 [過去の事実とは違うことへの願望]

④ If only I had come up with this idea at the meeting!

D as if / It's time

- ⑦ He talks as if he were an expert on marine life.
⑧ It's time I started thinking about my future career.

⑦ (as if + 仮定法過去) 「まるで〜であるかのように」を表す。

(as if + 仮定法過去完了) 「まるで〜だったかのように」を表す。

⑧ (It's time + 仮定法過去) 「もう〜してもいいころだ」を表す。

⑨ It's high time you started saving your money.

⑩ It's about time... 「そろそろ〜すべきころだ」

⑪ It is about time they arrived.

EXERCISES 仮定法

① 日本語に合うように、() に適切な語を入れなさい。

- (1) スマホが手元があれば、そんな情報は簡単に調べられるのに。
If I () a smartphone with me, I () easily search for that information.
(2) もし私があなとなら、その困難を乗り越えるために何でもするだろう。
If I () you, I () anything to do.
(3) 私は昨夜勉強してなかったら、試験に合格することができなかった。
If I () () last night, I () not () the test.
(4) マリがもう少し運がよかったら、コンテストで優勝していたかもしれないのに。
If Mari () () a little luckier, she () () () the contest.
(5) もし船発の電車に間に合っていたら、私は今この職場にいるだろう。
If I () () the first train, I () () in my office now.

教科書の該当頁

② [] 内の日本語を参考に、() に適する語句を書きなさい。

- (1) If only I () Nancy's email address! [知ってさえいればなあ]
(2) I wish I () as fast as Tom. [走ることができればなあ]
(3) I wish I () the story secret. [秘密にしていたらなあ]
(4) He spoke () everything. [知っているかのように]
(5) She behaved () . [以前海外に住んでいたかのように]

③ 日本語に合うように、() 内の語(句)を並べかえ、全文を書きなさい。

- (1) あは私を買ってあげてくれたなあと思ってる。
My father (he / bought / wishes / house / had / that).
(2) 意欲深く本文を読んでいたら、そんな間違いはなかっただろう。
If you had read the text carefully, (that error / have / wouldn't / made / you).
(3) 子どもたちは何事もなかったかのように遊び続けた。
The children continued to play (had / as / happened / nothing / if).
(4) 私は新しいパソコンを買ってもいいころだ。
It's (new / bought / 1 / time / a / computer).

④ [] 内の語(句)を使って、日本語を英語に直しなさい。

- (1) もし100万円があるとしたら、あなたは何をしますか。[if / would]
(2) 私の両親は私を子どもであるかのように扱う。[treat / as if]

「Plus」「Option」で、教科書で扱っていない文法項目も手厚く網羅

Plus ⑥ 仮定法を使う表現

A 過去の事実が変わると今はどうなるか

- ① If I had gone to bed earlier last night, I wouldn't be so sleepy now.

① 過去の事実とは違う仮定と現在の事実と反することを表す。

⇒ if節で仮定法過去完了、主節で仮定法過去を使う。
主節に時を表す副詞があることが多い。

B 仮定法を使う表現

- ② (a) If it were not for water, we could not live.
(b) If it had not been for your help, I couldn't have succeeded.
③ (a) If it should rain, we will put off our departure.
(b) If I were to quit school, how would you feel?

② (a) if it were not for ... 「もし〜がなければ」

(b) if it had not been for ... 「もし〜がなかったら」

③ but for ... / without ... は時に関係なく「〜がなければ、〜がなかったら」を表す。

④ But for water, we could not live.

⑤ with ... 「〜があれば」

⑥ With more height, this statue would look perfect.

⑦ (a) 可能性の低い未来の仮定を表す。

(If S should + 動詞の原形) 「〜する可能性がある」

⑧ 主節ではwillや命令文を使うことが多い。

(b) 起こる可能性が低い未来のことを表す。

(If S were to + 動詞の原形) 「〜するようになるとしたら」

C if の省略：倒置の語順

- ⑧ Were it not for water, we could not live.

⑧ ifを省略して仮定を表す。

⑨ ifを使わずにwereを文頭に出して仮定の意味を表す。

⑩ ifを省略して仮定を表す表現

(1) If S were ... ⇒ Were S ...

(2) If S had + 過去分詞 ... ⇒ Had S + 過去分詞 ... / If it were not for ... ⇒ Were it not for ...

If it had not been for ... ⇒ Had it not been for ...

D if 以外で仮定の意味を表す

- ⑨ He studied hard; otherwise he would have failed the test.

⑩ otherwise: 「そうでなければ」を表す。

EXERCISES 仮定法を使う表現

① () に入れるのに適切な語(句)を(a)~(d)から1つずつ選び、○で囲みなさい。

- (1) If I were () go abroad, I would go to France.
(a) by (b) to (c) having (d) on
(2) If you () earlier, you could arrive at the office now.
(a) start (b) had started (c) were started (d) has started
(3) If Nick () longer, he could have met my brother.
(a) had stayed (b) has stayed (c) stays (d) was staying
(4) If I () die, please offer my heart to someone who needs it.
(a) should (b) would (c) will (d) might
(5) () not for the money we are borrowing from him, we couldn't start the project.
(a) Was there (b) As if (c) Were it (d) Even if
(6) If he () rescued by the patrol at that time, he might not be alive today.
(a) is not (b) has not been (c) had not been (d) were not
(7) () , you would have seen her.
(a) If you come earlier (b) If you have come earlier
(c) Had you come earlier (d) You had come earlier
(8) () your help, I could not have done the work.
(a) If (b) Had (c) But (d) Without
(9) He did his best; () , he would not have won the prize.
(a) but only (b) so that (c) therefore (d) otherwise
(10) () a little more time, I would have solved the problem.
(a) And (b) With (c) If (d) Have

② 各文の下線部(a)~(d)の中に読んでいるものが1つある。その記号を選び、正しい表現に直しなさい。

- (1) What would you do if a millionaire asks you to marry him or her?
記号 ⇒
(2) I was very tired, but if I wasn't, I would have gone to the party with you last night.
記号 ⇒
(3) Was it not been for this castle, our city wouldn't have so many visitors.
記号 ⇒

③ 日本語に合うように、() 内の語(句)を並べかえ、全文を書きなさい。

- (1) 両親の帰りが遅くなるようなことがあれば、我が家のために夕食を用意しよう。
(come home late. / will / should / prepare / my parents / if / I / dinner for them.
(2) ②の力がなかったら、この仕事を見つけることはできなかっただろう。
If I have / been / could not / for your help. / had not / if / I / found this job.

Grammar Book と Essential Grammar Book は設問が重複しています。

*本教材はIのみのご用意になります。

●Listening, Vocabulary, Writing 問題をバランスよく演習

Listening は、音声再生アプリ「いいずなボイス」対応

LESSON 10

将来したいことについて話す—不定詞① (名詞用法)

教科書 p.170-172 練習問題 p.170-172

① Listening

これから Ms. Green と Hiroki の会話と、会話に関する質問が音声で流れます。最も適する答えを1つずつ選んで、記号を記入しなさい。

- 01 a. Ms. Green's travel plans. () b. Ms. Green's jobs. ()
c. Hiroki's future plans. d. Hiroki's interests. ()
- 02 a. Because she hopes he'll enjoy his trip abroad. ()
b. Because she thinks he'll become a good teacher. ()
c. Because she hopes he'll make a good decision. ()
d. Because she hopes he'll make his dream come true. ()

Vocabulary

- 空欄に適するものを1つずつ選んで、記号を記入しなさい。
1. I have _____ (1) ()
a. a challenging job and now I've got one. (2) ()
b. a challenging job and now I've got one. (2) ()
2. _____ (2) ()
a. a movie company in the future. (3) ()
b. a movie company in the future. (3) ()
3. _____ (3) ()
a. a movie company in the future. (3) ()
b. a movie company in the future. (3) ()
4. _____ (4) ()
a. a movie company in the future. (3) ()
b. a movie company in the future. (3) ()
5. _____ (5) ()
a. a movie company in the future. (3) ()
b. a movie company in the future. (3) ()

② Writing

- 1 日本語の意味に合うように、() に道語を入れなさい。
- (1) 私は教授に学者になる方法をたずねました。 [教授にたずねる] () () () a scholar. () C
- (2) あなたが人生に対するより広い視野を持つのはよいことです。 [より広い視野] () () () a wider perspective on life. () D
- (3) Rika は去年の秋に留学する決心をしました。 [決心] () () () abroad next fall. () B
- (4) Yuta の望みは、低予算で新しい事業を始めることです。 [低予算] () () () a new business on a low budget. () A
- 2 [] 内の日本語を参考にして、対話文を完成させなさい。
- (1) A: I want _____ an engineer. What skills do I need? [エンジニアになりたい] () () ()
B: First of all, you _____ good math skills. [習得する必要がある] () () ()
A: I'm not sure _____ my career. [どのようにするか] () () ()
B: Well, maybe your first step is _____ a guidance counselor. [話すこと] () () ()
- (2) A: I don't know _____ in my resume. [何を書くべきか] () () ()
B: It's important for _____ about your strengths one by one. [あなたが考えること] () () ()

- 3 日本語で与えられた状況に合うように、() 内の語句を並べかえて英文を完成させなさい。
- (1) _____ (A) 友人から起業に関するアドバイスをもたらしている。
(best / research / it's / to / a lot of / do) before setting up your own company.
- (2) _____ (B) 面接を明日に控えた第2と第3話している。
The important thing is (for / to / your job interview / late / not / be) tomorrow.
- (3) _____ (C) 駆け出しのデザイナーのスキ。彼女に必要なのは...。
She thinks (some experience / necessary / as / get / it / to) a designer.
- (4) _____ (D) 姉が両親に就職活動について相談している。
My sister (to / parents / start / our / when / asked) her job hunting.
- 4 下の [] 内から空所に入る適切な語句を選び、必要に応じて形を変えて、英文を完成させなさい。
- My dream is _____ a lawyer who helps people. Of course, I want _____ a good income, but that's not all. I have the ideal image of a lawyer who takes on poor clients for a good cause. My motivation will be _____ people the justice they deserve. To do so, I will need _____ a lot. It will be necessary _____ the bar exam and enter a good law firm. I know it won't be easy, but it's important not _____.
- [give / be / study / earn / be discouraged / pass]
- 5 次の Jack と Mary の会話イベントのチラシの内容と合うように完成させなさい。ただし、[] 内の語を使うこと。

Career Day: June 20

Listen to professionals talking about their jobs!
-> 11:00 a.m. in room 101: Rose Green, musician
-> 11:00 a.m. in room 102: Michael Smith, writer



- Jack : Which talk are you interested in?
Mary : (1) Well, _____, so I'm interested in Ms. Green's talk. [want / be] () () ()
- Jack : (2) _____ for a magazine after graduation. I'm excited about listening to Mr. Smith's talk! [hope / work / writer] () () ()

「1st~5th Zone REVIEW」で、学習した文法事項をまとめて復習

3rd Zone REVIEW

準動詞 (不定詞・動名詞・分詞) のはたらき

教科書 p.170-172 練習問題 p.170-172

1 準動詞は動詞の性質をもっている

- ① 動詞と同じように目的語を接合することができる
- ・ You need to **take** this medicine three times a day. (1日に3回この薬を飲む必要があります)
→ this medicine が take の目的語。
・ We enjoyed **singing** songs together. (私たちはいっしょに歌って楽しんだ)
→ songs が singing の目的語。
② 動詞と同じように副詞を加えることができる
- ・ I'm pleased to see you again. (またお会いできてうれしく思います)
→ again が to see を説明している。

② Exercises 1

- 日本語に合うように () 内の語句を並べかえて、全文を書きなさい。
1. トムは遅くかしたるのをやめた。 () () ()
Tom (up / staying / late / stopped).
2. 毎朝植木に水やりをしてもいいですよ。 () ()
I (watering / every / mind / the plants / don't) morning.
3. 間違えることを恐れてはいけません。 ()
Don't (afraid / mistakes / to / be / make).

2 準動詞は名詞や形容詞、副詞として使うことができる

- ① 不定詞と動名詞は名詞として使うことができる
- ・ My goal is to **hold** a concert at the Budokan. (私の目標は武道館でコンサートを開くことだ)
→ 不定詞 to hold が補語になっている。
・ **Dancing** to music is fun. (音楽に合わせて踊るの楽しい)
→ 動名詞 Dancing が主語になっている。
② 不定詞と分詞は形容詞として使うことができる
- ・ I have a lot of things to do today. (今日はやる事がたくさんある)
→ 不定詞 to do が a lot of things を説明している。
・ The man **talking** with Mr. White is Mark's father. (ホワイト先生と話している男性はマークのお父さんだ)
→ 現在分詞 talking with Mr. White が The man を説明している。

- ③ 不定詞と分詞は副詞として使うことができる
- ・ Lisa is practicing the drums very hard to be a professional musician. (リサはプロのミュージシャンになるためにドラムをとても一生懸命練習している)
→ 不定詞 to be は [目的] を表す副詞用法。
・ **Feeling** cold, she put on a sweater. (寒かったので彼女はセーターを着た)
→ Feeling cold は [理由] を表す副詞用法で、副詞としてはたらいている。

③ Exercises 2

- () 内のヒントを参考に、() に道語を入れなさい。
1. That man () () my bike. (盗んだことを否定した) ()
2. You should give your cat () () () (). (なにか食べるもの) ()
3. We are going fishing in a () () () trees. [木々に囲まれた池] ()
4. It's important () () () others. (他人の言うことを聞く) ()
5. () () () (), she said hello. [私にはほほえみかけながら] ()
6. We had a meeting () () how to deal with the problem. [話し合うために] ()

3 準動詞には共通する性質がある

- ① 意味上の主語や否定語は直前に入れる
- ・ It was a mistake for **me** to behave that way. (私があんなふうに振舞ったのは間違っていた)
→ for me が behave の意味上の主語。
・ Do you mind **my asking** you a question? (おたずねしてもいいですか)
→ my asking の意味上の主語。
・ Ann decided not to **depend** on her parents. (アンは両親に頼らないことに決めた)
→ 否定語 not が不定詞 to depend の直前に置かれる。
② 述語動詞より前のことを表すときは完了形にする
- ・ That student seemed to **have lost** his ID card. (あの生徒は学生証をなくしたようだった)
→ 述語動詞 seemed が失った時点より前に「なくした」で不定詞を完了形にしている。
・ Bob is ashamed of **having told** a lie. (ボブはうそをついたことを恥じている)
→ 「恥じている」のは今、「うそをついた」は過去なので、完了形の動名詞を使っている。

③ Exercises 3

- 日本語に合うように英文を完成させなさい。
1. It's important _____ from experience. [あなたが学ぶこと] ()
2. She is proud of _____ the piano competition. [優勝したこと] ()
3. I'm sorry for _____ sooner. [返信しなかったこと] ()
4. Her parents objected to _____. [彼女が留学すること] ()
5. My sister seems _____ my chocolate. [食べたこと] ()

LESSON 5 Study and Activities

学習・課外活動について話す

- GRMS** (図 pp.40-41) 次の日本語を英語にしよう。
- A** 完了していたこと・経験していたことを表す (過去完了形: 完了・経験)
- 私が体育館に着いたとき、その試合はすでに終わっていました。
 - 昨日まで、私は学校に遅刻したことが一度もありませんでした。
- B** 継続していたことを表す (過去完了形・過去完了進行形: 継続)
- 彼女は脚を骨折する前はテニス部に入っていました。
 - 彼が電話をくれたとき、私は2時間ゲームをしていました。
- C** 過去のある時点より前のことを表す (過去完了形: 大過去)
- 先生は、生徒がすでに教室をぞうじたことがわかった。
- D** 未来のある時点までのことを表す (will have + 過去分詞)
- 私は次の水曜日までに英語の小論文 (essay) を完成させているでしょう。
 - このレポートを完成させたら、私の宿題をすべて終わらせたことになります。
 - 山本先生 (Mr. Yamamoto) は来年で20年間教師をしていることになります。

- VOCABULARY** 次の語 (句) や表現を知っているか確認しよう。
- | | | |
|--|---|---|
| <input type="checkbox"/> get full marks | <input type="checkbox"/> hand in one's homework | <input type="checkbox"/> an assignment |
| <input type="checkbox"/> get a perfect score | <input type="checkbox"/> turn in a paper | <input type="checkbox"/> complete one's essay |
| <input type="checkbox"/> get good grades | <input type="checkbox"/> learn by heart | <input type="checkbox"/> a quiz |
| <input type="checkbox"/> get poor grades | <input type="checkbox"/> make an effort | <input type="checkbox"/> a mid-term exam |
| <input type="checkbox"/> pass a test | <input type="checkbox"/> make a mistake | <input type="checkbox"/> a term[final] exam |
| <input type="checkbox"/> fail a test | <input type="checkbox"/> a handout | <input type="checkbox"/> a practice match |
| <input type="checkbox"/> prepare for a test | <input type="checkbox"/> a paper[report] | <input type="checkbox"/> a final match |

My Sentences () の内容になるように、自分のオリジナル英文を作ってみよう。

- A** <完了・経験していたこと>
I _____
- B** <ずっと続いていたこと>
I _____
- C** <過去より前にしていたこと>
I _____
- D** <しているであろうこと>
I _____

自分のことについて
書いた英文を
発信のためにストック

My Essay (図 p.42) 学習や課外活動に関して、過去 (未来) のある時点までの状況を自由考えて、50語程度で書いてみよう。

- 学習や活動について
- 過去のある時点までの状況 (努力したことや印象的な経験など)
- 未来のある時点までの状況 (これからの展望や取り組みたいことなど)

教科書
ACTIVE LEARNING の
書き込み学習

●書き出した文をもとに文章にまとめてみよう。

セルフチェックで
自己採点

- Self-Check**
- 学習や課外活動の状況について、50語程度で書けているか
- 過去 [未来] のある時点までのことを過去完了形や (will have + 過去分詞) で表せているか
- 過去 [未来] のある時点までの行動や出来事、順を追って説明することができるか

巻末に教科書例文をまとめて掲載

教科書例文・日本語訳

- LESSON 1**
- I like cats very much. 私は猫がとても好きです。
 - My uncle has two cars. 私の叔父は自動車をもっています。
 - I usually get to school at 8:30. 私はふつう8時30分に学校に行きます。
 - My mother teaches biology at a high school. 私の母は高校で生物を教えます。
 - I'm writing an essay for my English class. 私は英語の授業のために作文を書いているところです。
 - I think my cat is getting fat. 私の猫は太ってきていると思います。
 - My grandmother is visiting us tomorrow. 私の祖母が明日私たちを訪ねてきます。
 - My brother graduates from college this month. 私の兄は今年大学を卒業します。
- LESSON 2**
- My father looked tired after the long drive. 私の父は長時間の運転のあとで疲れているように見えました。
 - I went to see a movie last Sunday. 私はこの前の日曜日に映画を観に行きました。
 - I was taking a nap around 2:00 p.m. yesterday. 私は昨日午後2時ごろ寝るしていました。
 - My mother was wearing sunglasses on the beach. 私の母は高波でサングラスをかけていました。
 - The sun was setting when we arrived at the beach. 私たちが浜辺に着いたとき、太陽は沈みつつありました。
 - My sister broke her leg while she was skateboarding. 私の姉はスケートボードをしているときに脚を骨折しました。
 - I used to spend my summer vacation with my cousins. 私はよくいとこと夏休みを過ごしていました。
 - There used to be a park next to my cousins' house. いくつもの家の間には以前、公園がありました。
- LESSON 3**
- I'll do my homework after dinner. 宿題は夕食のあとです。
 - The coach will be back in ten minutes. コーチは10分後に戻ってくるでしょう。
 - I'm going to join the badminton club. 私はバドミントン部に入るとつもりです。
 - I think it's going to rain soon. まもなく雨が降ると思います。
 - I'll be studying for the exam at this time tomorrow. 明日の今頃、私は試験勉強をしているでしょう。
 - We'll be staying here for a couple of weeks. 私たちはここに2、3週間滞在することになっています。
 - We'll start the meeting when our teacher comes back. 先生が戻ってきたときにミーティングを始めます。
 - If it rains tomorrow, we'll hold the ceremony in the gym. 明日雨なら、式典は体育館で行います。
- LESSON 4**
- I've already booked a train to Kyoto. 私はすでに京都行きの列車を予約しました。

例文音声は、 音声再生アプリ 「いっずなボイス」対応

- I've visited the British Museum once before. 私の母は出張から戻ってきました。
 - Have you ever been to a foreign country? 私は以前大英博物館を一度訪れたことがあります。
 - I have wanted to go to Paris since I was little. 私は小さいころからずっとパリに行きたいと思っていました。
 - My father has been driving for more than two hours. 私の父は2時間以上ずっと運転しています。
 - Have you seen Mr. Jones lately? 最近ジョーンズ先生に会いましたか。
 - I saw the musical twice when I was in New York. 私はニューヨークにいたとき、そのミュージカルを2回観ました。
- LESSON 5**
- The class had already started when I got to school. 私が学校に着いたとき、授業はすでに始まっていました。
 - I had never gotten a perfect score until the test last week. 先週の試験まで、私は満点をとったことが一度もありませんでした。
 - I had been in a soccer club for two years before I came to this school. 私はこの学校に来る前は2年間サッカー部に入っていました。
 - I had been preparing for the test for two hours when you called me. あなたが電話をくれたとき、私は2時間試験勉強をしていました。
 - The teacher found that all his students had solved the math problem. 先生は、生徒全員がその数学の問題を解いたことがわかった。
 - I will have completed my English project by next Friday. 私は次の金曜日までに、英語の課題を終えているでしょう。
 - I'll have visited the university three times if I join the campus tour. キャンパスツアーに参加したら、その大学を3回訪れたことになります。
 - Ms. Anderson will have been at this school for ten years next month. アンダーソン先生は来月で10年間この学校にいることになります。
- LESSON 6**
- My mother can cook Mexican food. 私の母はメキシコ料理を作ることができます。
 - Are you able to join us for lunch? 昼食と一緒にできますか。
 - I was able to eat everything on my plate. 私は皿の上の残っているすべてのものを食べたことができました。
 - Peanuts can cause allergic reactions. ピーナッツはアレルギー反応を起こすことがあります。
 - This can't be his original recipe. このレシピはオリジナルのものではありません。
 - May I borrow this recipe book? このレシピ本をお借りしてもよろしいですか。
 - He may not be able to eat meat. 彼は肉を食べられないかもしれません。
 - I may have put too much salt in the soup. 私はスープに塩を入れすぎたかもしれません。
- LESSON 7**
- We must obey the school rules. 私たちは校則に従わなければならない。

生徒用
準拠教材

Grammar Book II

各レッスン2頁構成。教科書と同じ例文で文法をより詳しく効率的に学習。教科書+αの文法項目、入試問題で文法を強化。指導用パワーポイント・テストクリエイター対応

LESSON 6 関係詞

pp.298-300, 302-303

A 関係代名詞 (限定用法: 主格)

① I heard the news about a woman who works for the United Nations.
② The movie which is now a big hit will surely win an Academy Award.

③ 関係代名詞を使うと、名詞が表す意味に説明を加え、その意味を限定することができる。関係代名詞が節の中で主語のはたらきをするとき、先行詞が人の場合は主格 who、人以外の場合は主格 that が which を使う (that は人の場合も使うことができる)。
④ 関係代名詞は whose という所有格があり、(whose + 名詞) という組み合わせで使う。
→ I happened to sit on a chair whose legs were unstable. (所有格)

B 関係代名詞 (限定用法: 目的格)

pp.300-302, 305

① An online news article that I read yesterday was fake.

② 関係代名詞が節の中で目的語のはたらきをする場合、目的格 that が which を使う。先行詞が人の場合目的格 whom を使うが、口語では who を使うことができる。関係代名詞の目的格は省略されることが多く、名詞に (主語 + 動詞) を直接添えて名詞を説明する。
→ Steven is the person (whom/who) I admire the most. [目的格]
③ 関係代名詞が前置詞の目的語のはたらきをする場合 (前置詞 + 関係代名詞)。
→ I visited the room in which the President works. (前置詞 + 関係代名詞)

C 関係代名詞 (非限定用法)

pp.304-311

① The prime minister, who is on vacation, went to the theater yesterday.
② He is said to be one of the greatest baseball players, which is true.

③ 名詞の意味を限定しない情報を追加したいときは、関係代名詞の前にコンマを入れる (非限定用法)。この場合は that は使えない。固有の名詞など、意味を限定する必要がない名詞の場合は非限定用法にする。
④ 非限定用法で、前文の内容の一部を説明やコメントを加えることもできる。
→ He emailed me the file, which I couldn't open.
⑤ 先行詞の一部または全体に情報を加えることができる。一部であれば some、全体であれば both, all, none, neither を用いる。
→ He released three albums, all of which sold very well.

D 関係副詞

pp.315-320

① The company announced the date when they would release the new movie.
② The caves where ancient people used to live are now a popular tourist spot.
③ I don't know the reason why the Japanese media didn't report this issue.

④ 関係副詞の when は時について、where は場所についての情報を加えるときに使う。
→ The time will come when we can predict earthquakes. (先行詞と when が離れる場合)
⑤ 関係副詞 when や where を非限定用法で使って、「そのときは~」や「そこは~」という情報を追加することができる。
→ Two years ago, when we lived in Okinawa, I met him for the first time. (非限定用法)
⑥ 関係副詞 why は、reason を先行詞として使う (reason は省略可能)。
→ I don't know what to do. This is why I need your help.

EXERCISES 関係詞

A

日本語の意味になるように、that 以外の関係詞を使い英文を完成させなさい。

(1) 早く帰りたい人はそうしてもよろしい。
Those _____ leave early may do so.

(2) 神秘とは、説明のできない何かのことです。
A mystery is something _____ be explained.

B

日本語の意味になるように、関係代名詞を使って英文を完成させなさい。

(1) 私はカフェで会う約束をしていた男性を探していました。
I was looking for _____.

(2) 私がオンラインで買ったジャケットはあまりよく体にフィットしませんでした。
The jacket _____.

(3) 私は返信しなければならない Eメールがたくさんあります。
I have _____.

(4) 私たちはよくその公園を訪れたのですが、そこは美しいバラで有名です。
We would often visit that park, _____.

(5) 田中さんは、以前は俳優でしたが、今は作家です。
Mr. Tanaka, _____.

(6) ボブはこれまでその少女に会ったことはなかったと言いましたが、それは本当でした。
Bob said he had never seen that girl before, _____.

C

日本語の意味になるように、空所を補い、英文を完成させなさい。

(1) だれもが月へ旅行に行ける日が間もなくやってくるのでしょうか。
Will the day soon come (_____) anyone can travel to the moon?

(2) ここはユキと私が最初に出会った公園です。
This is the park (_____) Yuki and I met for the first time.

(3) こういう理由で私はその計画に反対するのです。
This is (_____) I oppose that plan.

D

[] 内の語句を参考に、日本語の意味になる英文をつくりなさい。

(1) 私はあなたが勧めた映画を見ました。 [movie, recommend]
I watched _____.

(2) 君にその2冊の本を貸しますが、両方ともとてもおもしろいですよ。 [which, interesting]
I'll lend _____.

(3) 助けが必要なときに、私が頼るのは彼女だけです。 [person, that, need help] (工学院大)
She is _____.

(4) 彼らが出て行った理由を知る者はいませんでした。 [the reason, leave]
Nobody _____.

入試問題で復習 & 力試し 4

LESSON 10~12

1 () 内に入る最も適切な語句を①~④から選びなさい。

(1) Some people say the problem may have become () than expected. (清泉女子大)
① bad ② worse ③ worst ④ wrong

(2) Nothing is () refreshing as taking a shower after doing exercise. (同志社女子大)
① any ② less ③ more ④ as

(3) No () student in our class is as intelligent as she is. (福山大)
① other ② any ③ more ④ another

(4) If you heard her speak English, you () she is an American. (大阪医科薬科大)
① thought ② would think ③ had thought ④ were thinking

(5) Even if I () sick, I would attend the meeting. (関西学院大)
① had been ② are ③ were ④ be

(6) I'd appreciate it if you () move those boxes. (慶應義塾大)
① had helped ② help ③ helped ④ will help

(7) If an ambulance () at the accident scene three minutes earlier, the injured driver would have been saved. (昭和女子大)
① arrived ② will arrive ③ would arrive ④ had arrived

(8) I () you could find a way to overcome your difficulties. (摂南大)
① recommend ② wish ③ suggest ④ insist

(9) I wish I () in Macao longer last summer. (同志社女子大)
① can have stayed ② can stay ③ could have stayed ④ could stay

(10) () I had left home ten minutes earlier!
① Only if ② How ③ I wonder ④ If only (香林大)

(11) It is time my husband () back from work. (日本大)
① comes ② came ③ will come ④ is coming

(12) People in ancient times knew that the earth () round, didn't they? (立命館大)
① has been ② is ③ should be ④ to be

(13) It was not () this morning that I received your letter. (京都市女子大)
① before ② but ③ until ④ while

(14) It was not long () I found out the truth about the incident. (大阪学院大)
① since ② before ③ by ④ though

2 下線部のうち、誤った英語表現を含むものを1つ選びなさい。

(1) Kate, I'm afraid that you are overestimating Kevin's abilities. He is not as good at tennis than you think he is. (南山大)

(2) Wait, did the teacher just say we have a quiz tomorrow? I wish he lets us know about quizzes a few days earlier! Now I will have to study hard tonight to prepare for the exam. (南山大)

(3) The tourists who talked to us in Asakusa said they were from Sweden. They asked us what do you think of their country while emphasizing how much they loved Japan. (南山大)

3 意味の通る英文になるように、() 内の語句を並べかえ、全文を書きなさい。

(1) In the U.S., there are (three times / as many gun dealers / more than / as there are) grocery stores. (京都府国大)

(2) What (you / came / would / favorite singer / your / if / do) to your house? (芝浦工業大)

(3) If you (make / been / yourself / understood / had / able to) in English, you would have gotten the job. (獨協大)

(4) I wish I (eaten / much cake / hadn't / so / at) the party yesterday. (関東学院大)

(5) (long / won't / before / if / be) Rose gets out of hospital. (畿央大)

4 日本語の意味になるように、() 内の語句を並べかえ、全文を書きなさい。

(1) この果実園では、その場で食べないだけ、ぶどうを採ることができます。
At this fruit farm, you can (as / as many / grapes / pick / to eat / want / you) on the spot. (武庫川女子大)

(2) クジラは地球上の他のいかなる動物よりも大きい。
The (animal / any / bigger / is / on / other / than / whale) Earth. (龍谷大)

(3) まずやり方を示していただければ、とても助かるのですが。
It (if / be / help / great / would / of) you could show me how to do it first. (松山大)

(4) 彼女の親切な助けがなければ、私はこの作業を終えることができませんでした。
I (not / have / kind / could / her / completed / without / the task) help. (北星学院大)

(5) もっと早く起きていたら、電車に間に合ったのに。
You (if / have / you / could / had / caught / the train / woken up) earlier. (龍谷大)

(6) その島を訪れて初めて、スマートフォンがなければ人生がどんなに平穏になりうるか気づきました。
It wasn't until I visited the island (could / how / I / life / peaceful / realized / that) be without smartphones. (武庫川女子大)

(7) 彼はまもなくランナーの先頭集団に追いつくだろう。
It (he / before / be / won't / catches up with / long) the leading group of runners. (日本大)

7

ことばと思考について考える 一語一詞

1 英語の説明に合う語句を下の [] から選んで、記号を記入しなさい。

- someone who is able to speak two languages equally fluently ()
- the form of a language which is spoken only in a particular part of a country ()
- the movement of part of your body to express emotion or information ()
- the first and main language that you learn as a child ()
- words and expressions that are very informal and are used only by a particular group ()

a. dialect b. mother tongue c. gesture d. bilingual e. slang

2 日本語に合うように、() に語語を入れなさい。ただし、語語が指定されているものもある。

- マイクはしばしばラジオの日本語講座を聴く。 ()
- エマはロンドンの出身だが、私たちといっしょのときはめったに英語を話さない。 ()
- ケンの韓国語の力は徐々に向上し、今では完璧に話すことができる。 ()
- リカはいつもとても早く話す。 ()

3 各組の英文がほぼ同じ内容になるように、() に語語を入れなさい。

- It is probable that some Aboriginal languages will disappear in the future. ()
- Lisa learns foreign languages with ease. ()
- It is unfortunate that only a small number of high school students study a third language. ()
- It's certain that Jun will be a good English teacher. ()

4 与えられた状況に合うように、() 内の語句を並べかえて、全文を書きなさい。ただし、不要な語句が1つずつ含まれています。

- 日本語にはひらがな、カタカナ、漢字という表体系があるが、世界を見渡せば、() (writing / no / have / languages / not / a / all) system. ()
- 私たちのクラスには留学生が2人いるが、それ以外には、() (every / almost) our class. ()

(3) 大学生の姉は語学が得意で、こんなことを言っている。 ()

I'm studying English and French. (planning / Chinese / learn / moreover, / to / I'm / otherwise,) next year.

(4) なかなか英語が上達しないので、先生に相談したら、こう言われた。 ()

To master English, you should go to an English-speaking country. (English / every day / how / where / on / use / can).

5 日本語と [] 内の語を参考にして空所に入る英文をつくり、会話文を完成させなさい。

Tom: You want to be a cabin attendant, don't you?
 Liz: Yes, [] [want / internationally] (国際的に働きたいの)
 So [] [study / English] (とても一生懸命に英語を勉強している) since junior high school.
 What do you want to do?
 Tom: I want to play soccer in Brazil. So I have to study Portuguese, but it's really hard.
 Liz: Well, you have a definite goal, so [] [work / achieve] (それを達成するために一生懸命頑張るでしょ)
 Tom: Well, you're probably right.

6 下線部①、②の日本語を、[] 内の語句を参考にして、英語にしなさい。

In the Meiji period, a politician named Mori Arinori strongly argued that Japan must abolish the Japanese language and make English its official language in order to learn from the West and modernize. Of course, this was not carried out. Actually, instead of changing the official language, the Japanese coined new words such as "shakai" "keizai" and "kindai" and enriched the Japanese language.

However, if Japan had made English its official language, Japanese society would have been fundamentally changed. 日本人が海外出身の人々とコミュニケーションをとることは、より容易になったかもしれませんが、But on the other hand, 私たちは私たちの伝統的な文化のほぼすべてを失ったことでしょう。

① It might [] [for ~ to do / abroad] ()
 ② we would [] [nearly] ()

7 日本語に合うように、[] 内の語を参考にして、英文をつくりなさい。

- 私はこの古い本の中の言語をほとんど理解できません。 [hardly / language] ()
 I [] this old book.
- 幸い、私は空港で日本語を少し話せる男性に出会った。 [fortunately / meet] ()
 [] a man at the airport who [] .

入試問題に挑戦③

1 () に入る最も適切な語句を①~④から選びなさい。

- Takeshi () eats anything these days because he is sick. (千葉工業大)
 ① hard ② harden ③ hardly ④ harder
- Not () what to say, I kept silent. (埼玉医科大学)
 ① to know ② knowing ③ know ④ known
- I will let you know () I get more information about the problem. (松山大)
 ① what ② when ③ who ④ whom
- () your plans are, we would like to know what we can do to help. (大阪経済大)
 ① When ② Whoever ③ Whatever ④ Where
- Ellie studied hard () that she could pass the exam. (東京経済大)
 ① for ② so ③ therefore ④ then

2 意味の通る英文になるように、() 内の語句を並べかえ、全文を書きなさい。

- You are 18 years old, so I think (live / old / you / by yourself / are / to / enough). (芝浦工業大)
- He sat on one side of the table (facing / on / the / his / father) other side. (聖学院大)
- You cannot study hard with (so much / your / making / television / noise). (福岡大)

3 日本語に合うように、() 内の語句を並べかえ、全文を書きなさい。

- この問題は私には複雑すぎて、どこから手をつけていいかわからない。 (関東学院大)
 This problem is too (complex / for me / to / to know / where) start.
- この家は私が住むには十分な広さがある。 (岐阜聖徳学園大)
 This house is large (for / enough / to / me) live in.
- 彼はとても影響力のある政治家なのだからもっと責任をもって行動するべきだ。 (松山大)
 (politician / a / influential / being / very), he should act more responsibly.
- その女性は足を組んで座っていました。 (立正大)
 The woman was (her / with / legs / sitting / crossed).

4 以下の対話文を読み、() に最もよくあてはまるものを選び、記号で答えなさい。 (宮城大)

JEFF: Hey Mark. Nice to see you up so early. Are you studying for a test or something?
 MARK: (1) ()
 JEFF: Is that so? I thought you were working at the library.
 MARK: (2) ()
 I'm looking for something I can do on the weekends when I have more time.
 JEFF: OK. That makes sense. Actually, I may know a place that needs extra help. Are you fine with working at a cafe?
 MARK: (3) ()
 Are they looking for a server or a cashier?
 JEFF: If I remember correctly, they are actually looking for a pastry cook.
 MARK: Really? I'm not so certain I would be a good choice then.
 (4) ()
 JEFF: I'd have to ask my friend who works there, but I don't think that'll be a problem. There's a full-time cook there already. You'd just be helping out.
 MARK: If I don't need to do it alone, maybe I can do it. And, I could learn something new.
 (5) ()
 JEFF: Just go there after class. It's the cafe next to the art museum. Ask for Judy. She'll help.
 MARK: That's a good idea. I can go there in the afternoon after my last class.
 (6) ()
 JEFF: Yes, as far as I know. She's a cashier there, so just look for her behind the counter.
 MARK: (7) ()

(A) Sure. I don't have any experience, but I think I can manage.
 (B) It might be a bit late, but will your friend still be working after 6 p.m.?
 (C) Thanks so much for telling me about this, Jeff. Wish me luck!
 (D) Not at the moment. Actually, I'm looking for another part-time job.
 (E) Well, I'm still doing that, but I can only get shifts during the week.
 (F) Can you find out from your friend who I should talk to?
 (G) I can cook a little, but I don't know how to bake at all.

5 次の英語の指示に従って、40 語程度の英語で答えなさい。なお、解答用紙の指定した () 欄に、使用した語数を記入すること。ただし、コマやピリオドなどの記号は語数には入れない。 (島根大)

(p.46 に入試英文文解書欄あり)

People have different ways of escaping the stress and difficulties of life. Some like to read while other people like to exercise. What do you think is the best way to reduce stress? Give reasons to explain your answer.

My English Portfolio II

LESSON 1

Future Plans

将来の夢について話す

Forms 次の日本語を英語にしよう。

pp.18-19

A 現在形

- ① 私はお金を節約するために毎朝歩いて学校へ行きます。
- ② 妹はちょうど今、宿題をしています。

B 過去形

- ③ 私は昨夜、父とサッカーの試合に行きました。

C 完了形

- ④ 私は大学で勉強したいことをもう決めました。
- ⑤ 私は政治家になることを考えたことは一度もありません。
- ⑥ 彼は中学生の頃から宇宙に強い興味 (a keen interest) をもっています。

D 未来を表す表現

- ⑦ この部屋で食べることはきっと大丈夫 (okay) でしょう。
- ⑧ 私は図書館で絶滅危惧種 (endangered species) についての本を借りるつもりです。

My Sentences () の内容になるように、自分のオリジナル英文を作ってみよう。

- A** くふだんすること
- B** く過去にしたこと
- C** く〜から継続していること
- D** くそうなると思うこと

Self-Check

	主語・動詞はあるか	動詞の形は適切か	次のことが書けているか
A	<input type="checkbox"/>	現在形 <input type="checkbox"/>	ふだんすること <input type="checkbox"/>
B	<input type="checkbox"/>	過去形 <input type="checkbox"/>	過去に <input type="checkbox"/>
C	<input type="checkbox"/>	現在完了形・継続 <input type="checkbox"/>	〜から <input type="checkbox"/>
D	<input type="checkbox"/>	未来を表す表現 <input type="checkbox"/>	そうなる <input type="checkbox"/>

My Essay Write an essay about what you will be doing in 10 years in 80-100 words. p.20

- Step 1** 10年後の自分について述べる。
- Step 2** なぜそう思うようになったのか具体的な理由を挙げ、自分の夢や目標を述べる。
- Step 3** 現在の状況を述べ、夢をかなえるためにすべきことを述べる。

●つながり考えて文を組み立て、自分の考えを表現しよう。

() words

Self-Check

トピック	10年後の自分と、その実現に必要なことを述べるのができた。	<input type="checkbox"/>
単語	つづりの間違いがあるか → あれば○で囲む	<input type="checkbox"/>
文法	動詞の使い方に誤りがあるか → あれば□で囲む	<input type="checkbox"/>
論理	文と文のつながりが悪いところがあるか → あれば下線を引く	<input type="checkbox"/>
語数	80〜100語の文章を書くことができた。	<input type="checkbox"/>

LESSON 1 解答

Forms

- A** ① I walk to school [go to school on foot] every morning to save money.
- ② My sister is doing her homework (right) now.
- B** ③ I went to a soccer game with my father last night.
- C** ④ I have already decided what I want to study in college [at university].
- ⑤ I have never thought about becoming a politician.
- ⑥ He has had a keen interest in space since he was a junior high school student.
- D** ⑦ I'm sure it will be okay to eat in this room.
- ⑧ I'm going to borrow a book [books] about endangered species from the library.

My Sentences (解答例)

- A** • I take my dog for a walk every Saturday morning.
- I listen to music on my phone every night before I go to bed.
- B** • I made a birthday cake for my mother yesterday.
- I had soccer practice two hours a day before the big match.
- C** • She has been busy since she got home from work.
- I have worked at this hospital since I moved to Tokyo.
- D** • I'm sure she will keep her promise.
- I'm sure your dream will come true.

My Essay (解答例)

In 10 years, I'll be working as a video game developer. I have enjoyed playing games since I was an elementary school student. I was very shy then, but playing games helped me make new friends. When I play games, I can forget about everything else, and feel like I am in another world. I want to develop new games that many people will enjoy. To be a game developer, I will need to learn about the latest computer software and other new technologies, such as virtual reality (VR). (88 words)

自分が書いた文章をセルフチェックする項目があるので、自宅学習にも最適

Meeting People

自分のことを話す

Start-Up Andy and Kenta are talking in the classroom. They have just become friends.

現在完了形「友だちになったところだ」

Andy: What do you usually do after school, Kenta?

Kenta: Me? I'm in the soccer club, so **I play soccer**

every day except Monday.

Andy: **Really!** You must be very busy! But you're free on Mondays and weekends, right?

Kenta: Actually, I go to cram school every Monday. On weekends, **we sometimes have soccer games.**

Andy: Wow! You don't have much free time.

Kenta: No, not much. When there's no game on weekends, I like to hang out with my friends.

Comprehension Check

- T: "What sport does Kenta play?"
- He plays soccer.
- T: "When does he play soccer?"
- Every day except Monday (, and some weekends).
- T: "And what does he do on Mondays?"
- He goes to cram school.
- T: "How about the weekends?"
- He plays soccer or hangs out with his friends.

Start-Up の内容理解を
チェックできる Q&A を掲載

Tips for Better Communication

相手からの問いかけに答えたら、関連する情報を 1 つ加えましょう。

新しい情報が加わることで新たな興味や関心が生まれ、会話が続きます。



FORMS 現在のことは現在形で表す

住んでいる所や持っているもの、入っている部活のような現在の状態や、日々の暮らしの中でいつもすることを表すときは、**動詞の現在形**を使います。

動詞の現在形が表すのは「今」という一時点だけでなく、過去から現在、そして未来へと広がる時の範囲です。したがって、playのような動きを表す動詞の現在形は、**繰り返すようなこと**を表します。I play soccer.だけで、「いつもサッカーをする」ことを表すことができます。

EXPRESSIONS あいづちで関心を示す

あいづちを打つことで、相手の話に関心をもっていることを伝えることができます。**Really!**は、下がり口

音声のトラックナンバー
(指導用 CD) を掲載

lly? と上がり口調なら「そうなの?」というニュアンスになります。理解を示すといい話だと思えば That's nice. よくない話なら That's too bad. のような表現を前に述べられた個人的な経験や考えを指すときに that を使う

SOUNDS /l/ と /r/ の発音

light と right [write] では全く異なる意味になるので、l と r で始まる語を発音するときには、特に注意。
l は日本語のラ行の音に近く、r は「ウ」と発音したあと舌を丸めて言うときと原音に近い音になる

/l/ は舌先を上歯茎にあてて発音し、/r/ は舌先をどこにもつけず舌全体をうしろに引いて発音します。

like, live, club, play, usually, actually, school / really, right

light / right, lead / read, glass / grass, collect / correct

英語表現の機能や言いかえ例、日本語訳、学習者が迷いそうな表現、つまづきそうな文法ポイント、指導上押さえておきたい箇所や留意点などを緑字で解説

TALK

会話の内容を確認し、Andy と Kenta になりきって会話をしてみよう。

Pick-Up

入っている部活動は、**I'm in the soccer club.** のように言えば簡単です。I belong to (私は…に所属している) だと少しかたい表現になります。運動部なら、I'm on the tennis team. のように言うこともできます。

「ロビンとロバートはロックフォードに住んでいて、実に活気ある生活を送っている」

TT Robin and Robert live in Rockford and lead a really lively life.

1-10
全例文

I INTERACTIONS Talking about yourself or people close to you

「～の近くに」の意で people を後置修飾している。near you とすることもできる。どちらも「親密な；～に(場所が)近い」の意があるが、前者の意では close to ～のほうが普通

現在形：状態動詞

A 現在の状態を表す

現在時制では、主語が三人称単数のときの述語動詞の形を徹底して学ばせる

1-11

- ① I **like** cats very much.
- ② My uncle **has** two cars.
三人称単数現在

E-GUIDE

believe, feel, hope, know, like, think, understand, want など

- ①「～が好きだ」「～だと思う」のように **現在の心理的な状態** を表すときは、動詞の **現在形** を使う。
- ②「～を持っている」「～に住んでいる」のように **現在の状態** を表すときも、動詞の **現在形** を使う。

belong, contain, have, live, look, resemble など

1-12

TASK 与えられた動詞を使って、自分や身近な人に関する3つの文を書いてみよう(同じ動詞を2度使わないこと)。それぞれの文には、情報を1つずつ加えよう。状態動詞。日本語では「住んでいる；知っている」と言うが、進行形にしない

[believe / know / like / love / remember / need / want / have / live / resemble]

例 I **love** rock music. I'm in a band.
[「思い出す；覚えている」 memorize (～を覚える)との違いを確認 「～に似ている」は resemble to ～ としないよう注意]

My brother **doesn't like** vegetables. He especially hates **celery**.

否定文では三単現の does の形を確認

celery は不可算名詞。cf. a head of celery, a stick of celery

1-13

TASK 自分が書いたことを話してみよう。

1-14

B いつもすることを表す

現在形：動作動詞

- ③ I **usually get** to school at 8:30.
[～に着く](= arrive at ~ / reach ~) cf. go to school (学校に行く；通学する)
- ④ My mother **teaches** biology at a high school.
三単現。つづりも確認

E-GUIDE

- ③ 繰り返しすることや習慣になっていることを表すときは、動詞の **現在形** を使う。usually のような副詞を使うと頻度を表すことができる (always > usually > often > sometimes > rarely > never)。
- ④ 職業や習性、話す言語などを表すときも、動詞の **現在形** を使う。

否定文になるが、三単現の s を忘れないように。cf. He never cries.

1-15

TASK 自分や身近な人がいつもすることについて会話をしてみよう。

例 A: What do you do in your free time?
疑問詞 what で始まる疑問文で、語尾は下げて発音する
B: I usually read books. I like Murakami Haruki.
A: Really? I like Murakami, too.
B: Wow! That's great!

E-GUIDE

相手の発言内容に対して感じたことをあいづちで表現しよう。

「なるほど」 「私もそう思います」 「ありえない！」
I see. ・ I think so, too. ・ I can't believe it! ・ Really? ・ No way!

・ That's nice [good/great/wonderful/fantastic]. ・ That's too bad. ・ Is that true? ・ Yes, indeed.

・ You're kidding! ・ Are you serious?

「冗談でしょ！」 = No kidding!

前に述べられた個人的な経験や考えを指すときは it でなく that を使う。it は通念であると考えられることに用いる

1-23

V VOCABULARY

get up (起床する)との違いを確認

- ・ **wake up**
- ・ wash one's face
- ・ **take a shower**
= have a shower
- ・ brush one's teeth

この water は他動詞「～に水をやる」

- ・ set one's hair
- ・ have breakfast
- ・ have [drink] coffee
- ・ get dressed
「(バジャマなどからきちんとした服に)着がえる；正装する」の意。
cf. change clothes 「(ある服から別の服)に着がえる」
- ・ water the plants
- ・ leave for school
- ・ talk with friends
- ・ use a computer

- ・ go to the library
- ・ go to cram school
- ・ do club activities
- ・ do one's homework
不可算名詞。do one's homework の形で用いることが多い

I INTERACTIONS

学習項目 **A B C D** の
目標を英語で提示

A GOAL: Have the students write and then talk about themselves and the people close to them using the present tense.

TASK 1: Use any of the ten verbs to write three sentences. Add new information in each sentence, but don't use the same verb twice.

T: "We're going to write three sentences about ourselves. I'm going to give you ten verbs, and you can choose three of them. Don't use the same verb twice. Add some new information in each sentence. You can write negative sentences, too. I'm going to give you an easy example. Let's use these ten verbs to get started."

CHECK と **TASK** の指示文を英訳

(Sample Answers)

- I don't **believe** in Santa Claus. But my sister does.
- Eri **knows** a lot about animals. She tells me a lot of interesting stories about them.
- I **live** in the suburbs of Tokyo. I often take a walk in the natural park near my house.

TASK 2: Read aloud what you wrote.

T: "Everyone did well. Now you need to find a partner. In pairs, read your sentences to each other."

B GOAL: In the first TASK, have the students make simple conversations in pairs about their daily habits. In the second TASK, test their listening skills.

TASK 1: Talk about things that you or the people close to you often do on a daily basis.

T: "Do you remember the words used to describe frequency? Let's use those words (always>usually>often>sometimes>rarely>never) and make short conversations. Also use the E-GUIDE."

(Conversation Example 1)

- A: What do you do on weekends?
 B: I **often go** to the museum to see Japanese art.
 A: Sounds interesting! Who is your favorite artist?
 B: Katsushika Hokusai. I love his paintings!

授業でそのまま使えるように、
各文法項目をわかりやすく
赤字の英語で解説

(Conversation Example 2)

- A: What do you do in your free time?
 B: I **sometimes go** to a café near my house and relax.
 A: Really! Can I go with you next time?
 B: Of course, you can!

TASK の解答例を豊富に掲載

E-GUIDE

(Conversation Example 1)

- A: I posted a video of my cat on social media, and it's gone viral.
 B: **Really?** How many views did it get? (ウェブサイト・動画など (ネットなどで) 急速に広まる、バズる。の) 視聴 (回数) ウイルス (virus) のように広まることから

A: Thousands and thousands. I was surprised.

(Conversation Example 2)

- A: I am going to quit the tennis club.
 B: **You're kidding!** Why?
 A: I have to go to cram school right after school.

E-GUIDE の表現を使った
会話例を紹介

TASK 2: Listen to brief explanations about three occupations. Guess what the occupations are. Then write brief descriptions of each one.

T: “Now let’s check your listening ability. You’re going to hear about three occupations. I want you to guess what the occupations are and then write a description of them.”

(Script)

1. I **take** care of sick people in the hospital. I **help** doctors.
2. I **write** stories about different things. People **read** my stories in the newspaper.
3. I **grow** different kinds of vegetables. I **sell** them in the market.

(Answers)

1. a nurse
2. a journalist
3. a farmer

C

GOAL: Have the students briefly explain what the eight people in the picture are doing.

TASK: Point at the picture and, in English, say what the people are doing.

T: “Now look at the picture of a modern office on page 23. There are eight people in the room. In pairs, describe in English what they are doing.”

(Sample Answers)

- He **is using** a computer. / They **are using** computers.
- They **are talking** over coffee.
- He **is explaining** a job to her.

D

GOAL: Have the students use the F-GUIDE to create brief, original conversations.

TASK 1: Have a conversation about what you do after school or on the weekends.

T: “In pairs, make a short conversation about your plans after school or on the weekends. After that, switch roles.”

(Conversation Example 1)

A: What **are** you **doing** this weekend?

B: I’m **going** on a picnic with my friends. There is a nice park near the station.

(Conversation Example 2)

A: What **are** you **doing** after class today?

B: I’m **visiting** my grandparents. They always look happy when they see me.

TASK 2: Write an example of something that is scheduled to happen.

T: “Write about a scheduled event. Here are two sample answers.”

(Sample Answers)

- Summer vacation **starts** the day after tomorrow.
- The train **leaves** the station at 16:28.



1-17

TASK ▶ ある人の職業の説明を聞いて、その職業が何かを英語で答えよう。聞いた説明を書きとってみよう。

職業を表すときは、現在形であることを確認させる。名詞の複数形まできちんと聞き取って書かせる

C している最中のことを表す

現在進行形

1-18

- ⑤ I'm **writing** an essay for my English class.
 ⑥ I think my cat **is getting** fat. I think that my cat is の that の省略。I think my cat is fat. (現在の状態)との違いを確認

F-GUIDE

- ⑤ している最中のことを表すときは、**現在進行形** (am/are/is + 動詞の ing 形) を使う。「～しているところだ」
 ⑥ 変化している途中のことや一時的な状態を表すときも、**現在進行形** を使う。「～しつつある」(変化している途中)。例文は「太っている」とは訳せない

1-19

TASK ▶ 写真に写っている人を指差しながら、その人(たち)がしていることを英語で表そう。



D これからの予定を表す

現在進行形・現在形：予定

1-20

- ⑦ My grandmother **is visiting** us *tomorrow*.
 ⑧ My brother **graduates** from college *this month*.

F-GUIDE

- ⑦ これからしようとしている個人的な**予定**を表すときに、**現在進行形**を使うことができる。
 ⑧ **現在形**を使って、**確定している予定**を表すこともある。時を表す副詞(句)を伴うのが普通

1-21

TASK ▶ 放課後、または週末の予定について会話をしてみよう。

- 例 A: What are you doing after class today [this weekend]?
未来を表す副詞(句)。What are you doing? だけなら「今、何してるの?」
 B: I'm going to a concert with my sister. I'm really **looking forward to it**.

look forward to ~「～(すること)を楽しみに待つ」
 進行形で用いることが多い。= looking forward to going to a concert with my sister

1-22

TASK ▶ 確定している予定を書いてみよう。

- 例 The midterm exams start on May 20.

現在形で予定を表すときは往來・発着「5月」のみなら in May (go/come/leave/arrive など) や開始・終了 (begin/start/end/finish) を表す動詞がよく用いられる

- have dinner
- watch a video
- play the guitar
- play video games
- **take a bath** = have a bath
- **come from** 「～の出身である」は現在形で表す。= be from
- be a graduate of
- be good at

Self-Check (できることに✓を入れよう)

- A 現在の状態を表すことができる。
 B いつもすることを表すことができる。
 C している最中のことを表すことができる。
 D これからの予定を現在(進行)形で表すことができる。

ACTIVE LEARNING

Introducing Yourself



SHARE 自己紹介をしよう

① 自己紹介をしている次の文を読もう。

I'm Honda Kenta. ^{= I graduated from ~} I'm a graduate of Higashi Junior High School. I like soccer very much. I'm on the school soccer team and we practice every day. I think I'm outgoing. I hope I can make a lot of friends here.

現在の心理的状态 = I'm a member of ~ 現在の心理的状态 「外交的な; 社交的な」(形容詞) 現在の心理的状态 manyは主に疑問文・否定文で用い、会話などではa lot ofが自然

② 上の例を参考に、自己紹介の文を考えて、メモにまとめよう。

自分の好きなことや性格、これからの目標などを入れてみよう。

③ グループになって、順番に自己紹介をしよう。

・ Hello, everyone! で始め、最後に Thank you for listening. Do you have any questions? とたずねよう。

・ 聞き手は発表者に質問を1つしよう。

→ 質問を考えながら聞くことで、相手の話をよりアクティブに聞くことになります。

例 How long have you played soccer? / Do you like any other sports?

期間の長さを尋ねる

「ほかにだれか(1人でも); ほかに何か(1つでも)」

SHARE Introduce yourself.

- ① Read an example of a short self-introduction.
- ② Following the example above, make an outline of your own self-introduction.
- ③ Make groups, and read your self-introductions in turn.

Self-Check

自分のことについて伝えることができた。③②①

聞き手とアイコンタクトをとって話すことができた。③②①

③: よくできた。②: まあまあできた。①: あまりできなかった。

WRITE いつもの行動を書こう

① いつもの朝の行動を述べた文を読んで、[] から適語を

I (^{「起床する」 cf. wake up (目覚める)} get) up at seven in the morning. ^{接続詞} After I wash my face and ^{「着ている」} get dressed, I always (^{have}) a traditional Japanese breakfast with my family. I (^{leave}) home at eight and get to school by eight-thirty.

eat breakfastは無冠詞だが、形容詞がつくとa ~ breakfastのよう leave ~ (for ...)「(…に向かって) ~ を出発する」

go to schoolとの違いを確認

「～までに(は)」期限を表す前に冠詞をつける

[have / leave / get]

② 自分の毎朝の行動 (morning routine) や帰宅後の行動 (evening routine) を40語程度で書いてみよう。

接続詞andを使って、時間の流れにそって行動を説明しよう。

WRITE Write about your daily routines.

- ① Fill in the blanks with the words below.
- ② Write about your own morning or evening routine in about 40 words.

Self-Check

いつもの行動について、40語程度で表現することができた。③②①

時間の流れにそって、自分の行動を適切な動詞を使って書くことができた。③②①

③: よくできた。②: まあまあできた。①: あまりできなかった。

LOGICAL THINKING

「朝の行動」や「帰宅後の行動」など、いつもの行動を伝えるときは、時間の流れにそって話したり書いたりします。短い文が続くときは、接続詞andを使って文をつなぐと不要な繰り返し省けます。I wash my face and get dressed. ではandのあとにIを入れる必要はありません。

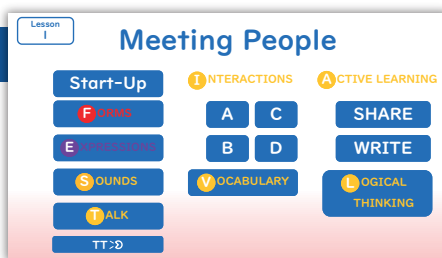


授業・指導内容に合わせて 自由に改変できる フレキシブルさが魅力

教科書の本文再生, SOUNDS・VOCABULARYのフラッシュカードなどの機能を収録。授業内容に合わせて, スライドを追加・削除することができるので, 生徒さんに適した効果的な授業ができます。

各レッスンの収録内容

各レッスン1枚目の目次のスライドから, 使用項目を選択できます。



- **Start-Up** : 導入の会話をカラオケ表示で確認できます (自動再生)。

- **TALK** : 冒頭の会話をネイティブスピーカーのあとに続いて練習 (Repeat) したり, ロールプレイング (Practice) したりできます。

- **SOUNDS/VOCABULARY** : 発音や単語をフラッシュカードで練習できます。スライドは3秒ごとに自動で切り替わります。

- **INTERACTIONS** : 基本例文と解説。CHECK/TASK 問題の解答が表示され, 音声を聞くこともできます。

- **ACTIVE LEARNING** : 教科書の自己発信質問とその解答例が表示されます。



機能も充実

閲覧設定

紙面の配色や明るさなどを調整することができます。

本棚に戻る

Lentranceのトップ画面に戻ります。



最小化

デジタル教科書を最小化します。

別の本を開く

本棚に戻らずに、教科書や資料を切り替えることができます。

● デジタル教科書3種類

指導者用	学習者用	
<ul style="list-style-type: none"> ● アプリ版またはクラウド版 ● 校内フリーライセンス ● 利用期間：5年間 	<ul style="list-style-type: none"> ● クラウド版のみ ● 1人1ライセンス ● 利用期間：2年間 	
 指導者用	 学習者用教科書(教材)	 学習者用教科書
デジタル教科書(教材)	デジタル教科書(教材)	デジタル教科書

基本機能(拡大・縮小、書き込みなど)	○	○	○
音声・スクリプト(Start Up, 基本例文, リスニング問題)	○	○	—
対応参考書該当頁の表示	○	○	—
設問の解答表示	○	—	—
利用方式	アプリまたはクラウド	クラウド	クラウド
納品形式	アプリ： DVD-ROM 納品 クラウド： ライセンス配布	ライセンス配布	ライセンス配布

アプリ方式とクラウド方式の違い

- ・アプリ方式：端末にビューアのアプリをインストールしてデジタル教科書を利用するため、オフラインでの使用が可能。iPadの場合、App Storeからアプリのダウンロードが必要。
- ・クラウド方式：Webブラウザを使ってデジタル教科書を利用するため、校内LANの環境が必要。端末にアプリをインストールする必要がありません。

動作環境

端末	アプリ方式	クラウド方式
Windows PC, Windowsタブレット	○ Windows 8.1以降	○ Chrome / Edge
iPad	○ iOS 12以降 / iPadOS	○ Safari
Chromebook	×	○ Chrome

総合英語 be 4th Edition



I と例文一致



平賀正子=監修/
鈴木希明=編著
A5判 704頁
定価1,870円
(本体1,700円+税)

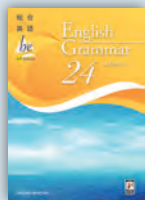
be English Logic and Expression I・II

Smart

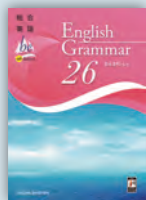
Clear



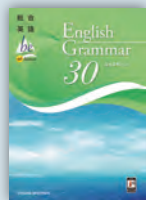
総合英語 be 準拠グラマー&ワークブック



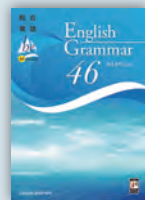
Grammar 24
B5判 / 120頁
定価770円
(本体700円+税)



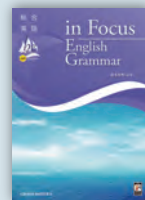
Grammar 26
B5判 / 128頁
定価781円
(本体710円+税)



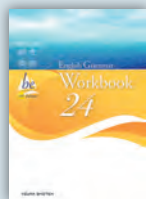
Grammar 30
B5判 / 128頁
定価781円
(本体710円+税)



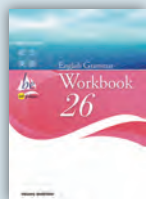
Grammar 46
B5判 / 136頁
定価792円
(本体720円+税)



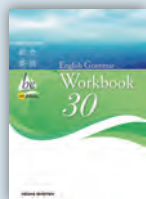
in Focus Grammar
A4判 / 104頁
定価803円
(本体730円+税)



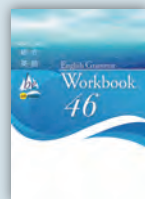
24 Workbook
B5判 / 88頁
定価583円
(本体530円+税)



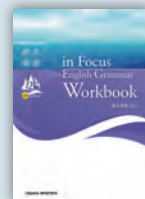
26 Workbook
B5判 / 88頁
定価594円
(本体540円+税)



30 Workbook
B5判 / 88頁
定価594円
(本体540円+税)



46 Workbook
B5判 / 96頁
定価605円
(本体550円+税)



in Focus Workbook
A4判 / 88頁
定価605円
(本体550円+税)

別売品 グラマー 解答・問題文訳 定価各110円 (本体100円+税) 付属品 ワークブック 解答・解説書
指導書 全グラマー共通 Teachers' Manual 定価1,100円 (本体1,000円+税)

導入教材



Base Builder Start up! 1, 2, 3
B5判 / 48頁
定価396円
(本体360円+税)
解答書付属



Base Builder
B5判 / 40頁
定価363円
(本体330円+税)
解答書付属



Endeavor Step by Step
B5判 / 96頁
定価506円
(本体460円+税)
解答書付属












Endeavor
B5判 / 40頁
定価363円
(本体330円+税)
解答書付属

復習教材



Discover
B5判 / 64頁
定価759円
(本体690円+税)
解答・解説書付属

	Smart I	Smart II	
指導用教材	指導資料セット (指導用パワーポイント含む) 	収録内容 ① 指導書本冊 ② Teacher's Book (朱書本) ③ 補助プリント ④ 小テスト・評価問題 ⑤ 指導用データDVD-ROM (指導用パワーポイント含む) 定価：22,000円(本体20,000円+税)	収録内容 ① 指導書本冊 ② Teacher's Book (朱書本) ③ 補助プリント ④ 小テスト・評価問題 ⑤ 指導用データDVD-ROM (指導用パワーポイント含む) 定価：29,700円(本体27,000円+税)
	Teacher's Book (朱書本) 	※上記②の単体での販売となります。 定価：3,850円(本体3,500円+税)	※上記②の単体での販売となります。 定価：4,400円(本体4,000円+税)
	指導書本冊 PDF 	※上記①のPDF版です。 定価：5,500円(本体5,000円+税)	※上記①のPDF版です。 定価：5,500円(本体5,000円+税)
	指導用音声 CD 	8枚組 収録内容：各課 Start-up/SOUNDS / 例文/TASK/CHECK/SHARE/ WRITE, 本課外頁 定価：16,500円(本体15,000円+税)	枚数：6枚組 収録内容：各課 Start-up/SOUNDS / 例文/TASK/CHECK/SHARE/ WRITE, 本課外頁 定価：16,500円(本体15,000円+税)
	デジタル教科書(教材) [アプリ版] 	収録内容：教科書と同じ内容 +αのコンテンツ 定価：27,500円(本体25,000円+税)	収録内容：教科書と同じ内容 +αのコンテンツ 定価：27,500円(本体25,000円+税)
	デジタル教科書(教材) [クラウド版] 	上記のクラウド配信版 定価：27,500円(本体25,000円+税)	上記のクラウド配信版 定価：27,500円(本体25,000円+税)
生徒用準拠教材	生徒用音声 CD 	2枚組 定価：550円(本体500円+税)	枚数：2枚組 定価：660円(本体600円+税)
	デジタル教科書 [クラウド版] 	収録内容：教科書と同じ 定価：1,100円(本体1,000円+税)	収録内容：教科書と同じ 定価：1,100円(本体1,000円+税)
	デジタル教科書(教材) [クラウド版] 	収録内容：教科書と同じ内容 +αのコンテンツ(解答は除く) 定価：2,200円(本体2,000円+税)	収録内容：教科書と同じ内容 +αのコンテンツ(解答は除く) 定価：2,200円(本体2,000円+税)
	問題集 書き込み式ノート 	Workbook I 定価：682円(本体620円+税)	Workbook II 定価：550円(本体500円+税)
		My English Portfolio I 定価：275円(本体250円+税)	My English Portfolio II 定価：242円(本体220円+税)
		Grammar Book I 定価：737円(本体670円+税)	Grammar Book II 定価：605円(本体550円+税)
Essential Grammar Book 定価：693円(本体630円+税)		—	

* Iの生徒用準拠教材問題集は、2023年11月1日から上記新定価になります。

be

令和6～9年度用
論理・表現Ⅰ・Ⅱ
教科書
ダイジェスト版

English Logic
and Expression Ⅰ・Ⅱ
Smart



株式会社いずな書店 <https://www.iizuna-shoten.com>

TEL.03-5826-4370 FAX.03-5812-7030 〒110-0016 東京都台東区台東1-32-8 清鷹ビル4F

* 本冊子に掲載されているQRコードは、(株)デンソーウェーブの登録商標です。
* 本冊子の内容は2023年4月現在のものです。掲載されている仕様及び価格等は予告なしに変更することがあります。